

(令和4年度)

第五次小千谷市総合計画 後期基本計画 進行管理シート



目 次

基本目標		基本方針		施 策		シートNo.	ページNo.		
1	人を育み文化の香るまちづくり (教育、文化、スポーツ)	1	学校教育の充実	1	幼児教育の充実	1	P. 1～2		
				2	小・中学校教育の充実	2	P. 3～6		
				3	特別支援教育の充実	3	P. 7～8		
				4	教育環境の整備	4	P. 9		
				5	育英事業の推進	5	P. 10		
		2	生涯学習の推進	1	生涯学習事業の推進	6	P. 11～13		
				2	青少年の健全育成	7	P. 14～15		
		3	文化の振興	1	文化・芸術の振興	8	P. 16		
				2	文化財等の保存と活用	9	P. 17～18		
		4	スポーツの振興	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興	10	P. 19		
				2	体育施設の整備	11	P. 20～21		
		2	子育てにやさしく健康長寿で 支えあうまちづくり (福祉、健康、医療)	1	子育て環境の充実	1	子どもを産み育てやすい環境の整備	12	P. 22～23
2	子育て支援の充実					13	P. 24～26		
2	健康づくりの推進			1	健やかな体づくりの推進	14	P. 27～30		
				2	健康長寿の推進	15	P. 31～32		
				3	心の健康づくりの推進	16	P. 32		
3	医療体制の充実			1	地域医療の充実	17	P. 34～36		
4	支えあう福祉社会づくり			1	障がい者福祉の充実	18	P. 37～38		
				2	生活困窮者への支援	19	P. 39～40		
				3	高齢者福祉の充実	20	P. 41～42		
3	創造性と活力あふれる産業の まちづくり (産業)			1	商工業の振興	1	商業の振興	21	P. 43～44
						2	基幹産業の強化	22	P. 45～46
						3	企業立地の推進	23	P. 47
		2	農林業の振興	1	担い手の育成と経営の安定	24	P. 48～49		
				2	農業生産基盤整備の推進	25	P. 50～51		
				3	農村の振興	26	P. 52		
				4	森林の維持	27	P. 53～54		
		3	地域特性を活かした産業の育成	1	独創性・創造性豊かな産業の育成	28	P. 55～56		
				2	錦鯉産業の振興	29	P. 57～59		
		4	就業機会の確保	1	就業支援の強化と人材育成	30	P. 59～61		
				2	労働環境の整備	31	P. 62		
		4	魅力ある都市空間創出と暮らし やすいまちづくり (都市基盤)	1	都市空間の創出	1	中心市街地の活性化	32	P. 63～64
2	地域公共交通の充実					33	P. 65		
3	居住環境の向上					34	P. 66～67		
2	快適な生活基盤の整備			1	道路網の整備と維持管理	35	P. 68		
				2	自然と調和し災害に強い河川の整備	36	P. 69		
				3	都市ガスの安定供給	37	P. 70		
				4	上水道の安定供給	38	P. 71		
				5	下水道施設の適正な維持管理	39	P. 72～73		
3	土地利用の推進			1	都市計画の推進	40	P. 74		
				2	国土調査の推進	41	P. 75		
5	自然を活かした調和と安心の まちづくり (防災、環境、克雪)			1	安全な市民生活の確保	1	危機管理体制の強化	42	P. 76～77
						2	消防・救急体制の充実	43	P. 78～79
		3	交通安全と防犯の推進			44	P. 80～81		
		2	自然と共生する循環型社会の推進	1	自然環境との共生	45	P. 82～83		
				2	資源リサイクルの推進	46	P. 84～85		
				3	再生可能エネルギーの推進	47	P. 86		
		3	暮らしやすい雪国生活の推進	1	冬期間交通の確保	48	P. 87～88		
				2	雪国生活の充実	49	P. 89～90		
		6	ふれあい、にぎわい、暮らし 続けたいまちづくり (交流、市民参加)	1	交流・移住・定住の推進	1	移住・定住人口の拡大	50	P. 91～93
2	都市間交流の推進と関係人口の拡大					51	P. 94～95		
3	国際交流の促進					52	P. 96		
2	市民協働と地域づくり			1	市民協働のまちづくりの推進	53	P. 97～98		
				2	地域力を活かした市民活動の推進	54	P. 99		
3	観光資源の活用と誘客推進			1	観光資源の整備と活用	55	P. 100～101		
		2	祭りやイベントによる誘客推進	56	P. 102～103				
7	計画推進のために			1	持続可能な行財政運営	57	P. 104～105		
				2	効果的な広域連携	58	P. 106		
				3	人口減少対策	59	P. 107		
				4	男女共同参画と人権の尊重	60	P. 108		

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	1
総合計画ページ	P.8		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	1	幼児教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもと保護者で学ぶ機会の提供 ■ 子ども読書活動の推進 ■ 認定こども園への支援 ■ 相談体制の充実

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
(掲載項目なし)							

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
家庭教育地域交流振興事業 【文化スポーツ課】	保育園、認定こども園、小・中・総合支援学校などと連携した家庭教育講座の充実	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・2園、8小中学校、1団体における親子で学ぶ機会や子育ての悩みを解決に導く講座開催を支援し、講座の充実を図った。 ・家庭でのお子さんとの関わり方などを学ぶ講座を開催した。 	乳幼児期・少年期における子育ての悩みや親子で学べる学習の機会を提供し、家庭教育の普及や振興を図ることができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、家庭教育講座の開催を支援する。 ・SNSやアプリ等を利用した周知を行うことで広く情報を届け、より多くの支援ができるように努める。
事業名【担当課】	事業概要	
地域子育て支援拠点事業 【健康・子育て応援課】	親子体操などの子育て講座、すこやか子育て教室の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
すこやか子育て教室 ・0歳児 67組 130人 ・1歳児 28組 56人 ・2歳児 46組 92人 子育て講座 ・10講座 88組 126人	未就園児とその保護者を対象としているが、就園年齢が低下したことにより、参加者数は減少傾向にある。情報化社会でインターネットなどから多くの子育て情報を得ることができるがゆえに、発達の遅れなどの不安を抱える親も多く、今後も子育てについて学ぶ機会を提供する必要がある。	すこやか子育て教室や子育て講座を開催し、親子の関わり方や愛着形成段階をサポートする。保護者交流を図りながら、困り感に寄り添い、情報提供を行う。

※困り感…困っていると感じているその様子。

事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業 【にぎわい交流課】	家庭での読み聞かせの啓発、ブックスタート事業、保育園やわんパークなどと連携した図書館サービスの実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 希望する保育園や幼稚園、読み聞かせボランティア等へ団体貸出を実施(延べ439件) ブックスタート事業は新型コロナウイルス感染症流行の影響により読み聞かせができず、絵本とブックリストなどをプレゼントした。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、10ヵ月児健診時では読み聞かせの体験をしてもらうことができなかった。 子どもの読書習慣や家庭読書が定着するよう、読書活動を推進する取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業では関係課と連携を図り、新型コロナウイルス感染症流行時でも可能な事業方法の検討と家庭での読書活動につながる情報提供などを行う。 わんパーク利用者に向けた家庭での読み聞かせ啓発活動を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
認定こども園支援事業 【教育・保育課】	運営費補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
国、県及び市による認定こども園に対する運営費補助 <ul style="list-style-type: none"> 特別保育事業補助金 2件 保育対策総合支援事業費補助金 3件 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金 3件 	特色ある教育の充実のため、認定こども園の運営を支援する必要がある。	引き続き、認定こども園に対する運営費補助を通して特色ある教育の推進と充実を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
就学前児童の相談事業 【教育・保育課】	就学前児童の相談体制の充実	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 各園への巡回訪問により、就学前から就学相談などに対する助言を行った。 園における特別支援教育の窓口となる発達支援コーディネーターを各園に配置し、研修会を実施することで早期段階から就学相談を進めることができた。 発達支援コーディネーターと小学校の先生との情報交換を年度当初に行うことで円滑な就学相談の実施につながった。 	H29年度から実施している巡回訪問の実施や各園へ発達支援コーディネーターを配置することにより、就学前児童に対する早期からの就学相談の実施が定着してきている。 特別な支援を必要とする児童生徒は増加しており、就学相談を余裕をもって進めるためにも保護者との子どもの困り感について、情報共有が必要である。	R5年度より特別支援教育の専門的知識を持つ特別教育支援指導主事を配置した。引き続き、指導主事を中心に巡回訪問や発達支援コーディネーター配置による早期からの就学相談を実施し、就学相談体制の充実を図る。発達支援コーディネーターの更なる専門性向上を図るため、研修内容を検討し、研修会を開催する。

※困り感…困っていると感じているその様子

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	2
総合計画ページ	P.10		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	2	小・中学校教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校の創意を活かす教育の推進 ■ 情報活用能力の育成 ■ 教職員の指導力向上 ■ ふるさと教育・キャリア教育の推進 ■ 震災体験を活かした防災教育の推進 ■ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進 ■ 読書活動の推進 ■ 英語教育・国際理解教育の充実 ■ 非核平和教育の推進 ■ 食育の推進 ■ 学校給食の運営

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学校)	%	83.0	82.9	85.5	85.0	100.6%	教育・保育課
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(中学校)	%	68.1	67.5	65.4	75.0	87.2%	教育・保育課
家で自ら計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合(小学校)	%	80.0	81.1	84.8	85.0	99.8%	教育・保育課
家で自ら計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合(中学校)	%	49.1	55.3	55.1	60.0	91.8%	教育・保育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合(小学校)	%	97.8	99.3	98.5	100	98.5%	教育・保育課
いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒の割合(中学校)	%	95.1	94.7	98.3	100	98.3%	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
教職員研修支援事業【教育・保育課】	小千谷市教育研究会が実施する研修への支援・補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
校内研修や市教育研究会の専門部による研修が充実した。	教職員の問題意識に基づいた主体的で創意あふれる研修が実施されている。	小千谷市教育研究会が実施する研修への支援や補助を行い、教職員の指導力向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
ICT教育の推進【教育・保育課】	ICT機器やデジタル教材を活用した学習活動の充実、ICT活用能力向上のための教職員研修の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
ICT機器やデジタル教材を活用した学習活動の充実やICT活用能力向上のための教職員研修を実施した。	総合学習ソフトの活用支援により学習端末機の活用を進めた。教職員に対する端末活用支援を実施し、円滑に使用できる体制づくりを進めた。	確実かつ円滑に機器とソフトウェアを使用できるよう、教職員に対する研修を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
ふるさと教育・キャリア教育・人権同和教育推進事業【教育・保育課】	ふるさと教育パンフレットの改訂、社会科副読本の作成・改訂、自然体験活動や地域産業を知る活動の推進、職場体験活動、人権同和教育の充実	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・中学2年生職場体験活動により地域への愛着と将来への夢や希望を育てている。 ・副読本「生きるシリーズ」を活用した授業実践や年2回の人権同和教育の職員研修を実施した。	・新型コロナウイルス感染症が流行していたが、各校で工夫して職場体験が実施された。 ・若手教員が多くなり、繰り返し人権同和教育の研修を実施していく必要がある。	・中学2年生職場体験活動の定着 ・職員研修として現地研修や講師を招いた研修会の継続実施

事業名【担当課】	事業概要	
おぢやしごと未来塾の開催【企画政策課/教育・保育課】	中学生などを対象とした地元企業を知るためのキャリア教育の機会の提供	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
【企画政策課】 ・市内の中学1、2年生と総合支援学校中学部生が参加し、地元企業について学んだ。 ・市内企業46社が企業ブースを出展した。 ・中学生の事業参加の様子を見学できるように一般観覧を実施し、36名が来場した。 【教育・保育課】 市内の企業・高等学校等の協力を得て実施でき、将来の見通しを持つことができた。	【企画政策課】 ・企業ブースを見学した中学生の100%が、事業に参加したことで小千谷市の企業を「よく理解できた」「やや理解できた」と、アンケートで評価している。 ・キャリア教育から地元就職への結び付きが強くなるよう、就職が身近になる高校生の事業参加を検討する必要がある。 【教育・保育課】 企業や大学等との連携を続けていくとともに、各校への訪問など、更に深まりのある関係づくりを求める必要がある。	【企画政策課】 アンケート結果を反映し、事業満足度の向上を図りながら、キャリア教育機会の提供によって引き続き地元就職に結び付くよう、事業を推進する。また、高校生の事業参加に向けて関係者と調整を行う。 【教育・保育課】 ・生徒はもっと多くの企業のブース訪問をしたいという感想が多い。ブース訪問の回数を検討する。 ・前年度の未来塾での学習を踏まえて、中学2年生の職場訪問を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
防災教育推進事業【教育・保育課】	震災等の教訓の継承、防災に関する学習資料やおぢや震災ミュージアム「そなえ館」などを活用した防災教育の推進、中越大震災の日給食の実施、防災教育講演会(中学3年生対象)	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
「そなえ館」での防災学習の実践や非常食をテーマにした震災の日の給食、防災意識を高める防災講演会の実施を通じて、中越大震災を風化させることなく、災害対応の意識を高めることができています。	市の取組だけでなく、各校で中越大震災の日の講話など、震災を風化させない取組を企画していく必要がある。	引き続き、「そなえ館」での防災学習や震災の日の非常食給食、防災教育講演会を実施する。また、防災学習の事前事後指導の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
教育相談事業【教育・保育課】	教育相談員の配置、教育相談体制の充実	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
教育センターでの保護者との相談に加え、隔週で各中学校に巡回相談に出掛け、年間446件の相談を行った。	児童生徒のこころの悩みや保護者の相談に加え、WISC検査など、多岐に渡って学校を支援しており、無くてはならない存在である。	引き続き、児童生徒のこころの悩みや保護者の相談に加え、WISC検査の結果の活用や特別支援コーディネーターとの連携など、多岐に渡る学校支援を進める。

※WISC検査…児童用ウェクスラー式知能検査: 全体的な知的能力や処理能力を図る検査

事業名【担当課】	事業概要	
適応指導教室事業【教育・保育課】	適応指導教室の運営	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
学校や関係諸機関、家庭と連携し、不登校児童生徒の通級に向けた取組を進めた。通級生には学校復帰に向けて力を高めるために学習支援や活動支援を行った。	学校や関係諸機関、家庭との連携を通じ有効な取組を行うことができた。通級生への様々な支援を行い、学校復帰に向けた力を高める場として一定の役割を果たすことができた。	引き続き、学校や関係諸機関、家庭と連携し、不登校児童生徒の通級に向けた取組を進めてる。通級生には学校復帰や進学に向けた力を高めるための学習支援や活動支援を個々の状況に合わせて行う。

※通級…学校生活に適応できない児童生徒が、心の安定や生活全般の立て直しと自立を図りながら、集団への適応力を高めて学校生活に復帰できるよう、学習や集団生活への適応指導、体験活動などを受けること。

事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業(再掲) 【にぎわい交流課】	小中学校図書館担当者連絡会議、学習読書活動支援事業(ブックトーク・おはなし会等)、団体貸出	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・小中学校学校図書館担当者連絡会の開催(1回)や市内全小中校を訪問し、情報交換を行った。 ・小学校を対象等に団体貸出(延べ439件)やミニ移動図書館(6回)、ブックトーク(14回)を実施した。	・子どもの年齢が上がるにつれて読書をしていない児童生徒の割合が増える傾向にある。 ・子どもたちの年齢やICTの活用等の社会環境に合わせた取組を実施する必要がある。	・児童生徒向けの図書館だよりの発行や学校放送への図書館情報の提供など、児童生徒向けの情報発信をする。 ・ICTの活用等、学校教育や社会の環境に合わせた事業実施が可能となるよう、環境の整備を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
英語教育推進事業【教育・保育課】	外国語指導助手の配置、ウィンターイングリッシュキャンプ	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
外国語指導助手4名の配置やウィンターイングリッシュキャンプの実施により、外国の方とのコミュニケーションの機会を得ることができた。	・小学校は外国語指導助手と英語専科教員がTT授業を実施し、充実した内容となった。 ・イングリッシュキャンプは新型コロナウイルス感染症が流行していたため、参加者が12名と少なかった。	・外国語指導助手の4名配置を継続する。 ・外国の方とよりコミュニケーションを図るイングリッシュキャンプの内容を充実させる。

※TT授業…ティーム・ティーチング、複数の教師が協力して行う授業方式

事業名【担当課】	事業概要	
非核平和推進事業【企画政策課】	原爆記録写真展の開催、平和学習研修の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・非核平和都市宣言30周年を記念して、以下3事業を実施した。 ①平和祈念コンサート(来場者200人) ②被爆体験伝承講話会(来場者354人) ③非核平和ポスター展(展示作品52点) ※市内中学校と高校に展示作品の募集を行い、52点を市内商業施設に展示 ・中学生代表による広島平和記念式典への参列(非核平和推進研修)を3年ぶりに実施した。 ・市民に折り鶴の募集を行い、約4万9千羽が寄せられた。R4年度は広島平和記念公園に加えて、長崎の平和公園に折り鶴を送った。	・広島平和記念式典はR2年度から規模を縮小した開催が続いていることから、非核平和推進研修の実施にあたっては引き続き、主催者(広島市)の動向を注視する必要がある。 ・戦争を経験していない世代がほとんどになっており、特に若い世代が非核平和を考える機会となる事業を継続して実施する必要がある。	・非核平和推進研修については、広島平和記念式典の開催方針等を踏まえながら、継続して実施する。 ・被爆体験伝承講話会については、R4年度と同様に市内全中学校の3年生を対象として実施する。 ・非核平和ポスター展については、R4年度と同様に展示作品の募集を市内中学校に対して行い、市民に作品をご覧いただく機会を作る。

事業名【担当課】	事業概要	
食育推進事業【教育・保育課】	食に関する指導の充実、小千谷産コシヒカリによる米飯給食や地産地消の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
以前から、小千谷産コシヒカリを学校給食に提供する場合、市場価格より安価な価格設定となっていたため、安定的な学校給食米の確保に課題があった。市とJAで協議を重ね、生産者に発生していた負担分を次年度から市とJA両方で負担することで覚書を締結し、今後学校給食米を確保する道筋が立てられた。	「①R4年度の実施状況」のとおり、安定的な学校給食米の確保に課題があったが、市とJAが協議を重ね、覚書を締結したことで課題は解消されている。	地元納入業者及び生産農家と意見交換を継続することで、小千谷産農産物の安定的な納品と地産地消の推進を図る。また、地元産コシヒカリによる米飯給食の実施について、小千谷産の美味しいコシヒカリによる米飯給食を今後も継続していく。

事業名【担当課】	事業概要	
学校給食運営事業【教育・保育課】	安全・安心な学校給食の提供	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
急激な物価高騰に伴い、学校給食の食料費全体が上昇していることから、バランスの良い給食の提供と給食費の保護者負担を軽減するため、各学校の給食費の一部を補助した。	様々な社会情勢の影響から食料費全体の高騰が続く、今後も給食費への影響が避けられない状況である。	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度と同様給食費の補助を行い、バランスの良い給食の提供と、給食費の保護者負担の軽減を図る。 ・学校や保護者と連携を図りながら適切な食事を提供し、事故のない安心安全な学校給食を実施する。また、日頃から学校や給食センター、委託業者と連携しながら、調理運搬等業務の効率的な運営を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	3
総合計画ページ		P.15	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	3	特別支援教育の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 就学相談体制の充実 ■ 特別支援教育の充実 ■ 総合支援学校の運営 ■ 生徒への就労支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
特別支援教育研修講座開催回数(市立総合支援学校主催)	回	5	5	5	5	100.0	教育・保育課
特別支援教育研修講座延べ参加人数(市立総合支援学校主催)	人	291	294	293	320	91.6	教育・保育課
各種特別支援教育研修開催回数(教育委員会主催)	回	5	6	6	6	100.0	教育・保育課
各種特別支援教育研修延べ参加人数(教育委員会主催)	人	123	121	132	150	88.0	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
就学相談事業【教育・保育課】	就学相談体制の充実	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
園から小学校への入学や小学校から中学校への進学に係る就学相談について、年度初めに情報交換の場を設けた。また、園や小中学校の連携のあり方を研修会で学ぶことで、円滑な就学相談の実施につながった。	情報交換の場を年度当初に設けることで、円滑な就学相談の実施につながっている。専門相談員が交代することもあるため、就学相談に係る事務手続や専門性向上のための研修実施や特別支援教育に係る情報提供が必要である。	R5年度より特別支援教育の専門的知識を持つ特別教育支援指導主事を配置する。円滑な就学相談の実施のため、年度当初に園や小中学校の情報交換の場を設け、指導主事を中心に特別支援教育に関する情報提供を行うとともに、就学相談に係る事務手続について周知をする。

事業名【担当課】	事業概要	
特別支援教育推進事業【教育・保育課】	総合支援学校の中核的機能を活用した、小・中学校の特別支援教育の充実(運営や研修の充実)	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・総合支援地域担当者による保幼小訪問指導の実施 ・総合支援学校主催の市立学校職員対象の講座開設 ・総合支援学校と小中学校との円滑な連携が図られている。	特別支援に対するニーズが高まっている。それに対応できるよう、教職員の資質能力を向上させる研修の充実が必要である。	新規に配置された特別支援教育指導主事が窓口となり、学校のニーズに応える指導支援や研修の充実に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
総合支援学校運営事業【教育・保育課】	総合支援学校の運営	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 円滑な通学を目指した通学バスの運行計画を策定した。 駐車場の拡張工事を実施し、駐車スペースを確保した。 	<p>児童生徒の増加や教職員数の増加により、教室や職員室、体育館が手狭になっている。物品の保管場所が少なく困っている。</p>	<p>夏季休業中に職員室等の増築工事を実施する。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
就労支援事業【教育・保育課】	企業及び障がい者就労施設等関係機関と連携した就労支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>高等部1年生から3年生まで前期3週間、後期3週間の職場実習を実施(下学年は校内実習含む。)</p>	<p>高齢者施設や食品スーパーでの実習が新型コロナウイルス感染症の流行等の理由でできなくなり、体験先の確保が課題である。</p>	<p>体験先を確保し、校内実習及び職場実習の充実を図る。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	4
総合計画ページ	P.17		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	4	教育環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校施設の整備 ■ 学校給食施設の整備 ■ ICT環境の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
小・中学校の施設整備数(校数・累計)	校	2	0	1	2	50.0	教育・保育課
小・中学校の施設整備数(棟数・累計)	棟	2	0	1	3	33.3	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
学校施設整備事業【教育・保育課】	小・中・総合支援学校の大規模改修	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
実施設計に基づく大規模改修工事を実施した。R5年度の大規模改修工事実施に向け、実施設計を行った。	建物の内外装や各種設備が経年劣化により老朽化が進行している施設があり、改修費用の増大が懸念される。	施設長寿命化と教育環境改善のため、R4年度の実施設計を基に効果的な大規模改修工事を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
学校給食施設整備事業【教育・保育課】	学校給食施設の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
給食運営に影響がある大型の機器について、使用状況や状態を確認しながら更新を行った。不具合が発生した機器は計画を前倒して入れ替えた。	市内の児童生徒数が減少している状況を踏まえ、更新する施設や設備等の規模や規格を精査する必要がある。	給食運営に影響がある大型の機器について、使用状況や状態を確認しながら、適正な時期に更新し、故障などによる不具合を未然に防ぐ。その他、文部科学省の示す学校給食衛生管理基準に準じ、改善点を確認する。

事業名【担当課】	事業概要	
ICT環境の整備【教育・保育課】	ICT教育の推進のためのハード面やソフト面での環境整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
ICT教育の推進のためのハード面やソフト面での環境整備	普通教室にある42型の提示装置を一部65型に更新し、学習環境が改善された。今後は学習端末の更新が課題となってくる。	引き続き、提示装置の計画的な更新を行う。また、学習端末の更新についても検討を行うこととする。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	5
総合計画ページ		P.18	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	1	学校教育の充実
施策	5	育英事業の推進
施策の基本方針	■ 育英事業に対する支援	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
奨学資金貸与者	人/年	21	16	14	30	46.7	教育・保育課
小千谷学生寮入寮者	人/年	24	13	13	25	52.0	教育・保育課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
育英事業支援【教育・保育課】	奨学金事業、小千谷学生寮運営事業の継続支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
奨学金事業や小千谷学生寮の利用促進に向けた支援を行った。	・奨学金の貸与者が減少傾向にある。 ・R4年度は学生寮の女子入寮が実現しなかったが、R5年度は女子が入寮予定である。	奨学金事業及び小千谷学生寮運営事業の継続支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	6
総合計画ページ	P.19		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習事業の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習機会の拡充 ■ 自主活動グループの活動支援 ■ 公民館活動の充実 ■ 障がいのある人の生涯学習の推進 ■ 図書館をはじめとする生涯学習施設の整備・活用 ■ 人材育成の推進 <ul style="list-style-type: none"> ■ 情報サービスの充実 ■ 子ども読書活動の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R4/R7))	担当課
市民会館利用者数	人	52,781	40,279	51,616	51,200	100.8	文化スポーツ課
図書館来館者数	人	67,447	50,262	49,616	-	-	にぎわい交流課
複合施設来館者数	人	-	-	-	168,000	29.5	にぎわい交流課
市民の家「おちゃ〜る」利用者数	人	15,084	5,698	6,349	21,000	30.2	にぎわい交流課
勤労青少年ホーム「ホットプラザ」利用者数	人	20,173	8,948	13,459	19,300	69.7	文化スポーツ課
市民学習センター「楽集館」利用者数	人	35,089	22,693	24,935	34,000	73.3	文化スポーツ課
公民館学級・講座等開設数(合計)		42	103	92	53	173.6	文化スポーツ課
(内訳) 青少年対象		8	32	27	11	245.5	
(内訳) 成人対象		4	31	17	6	283.3	
(内訳) 中高年対象		1	2	1	2	50.0	
(内訳) 高齢者対象		7	14	22	7	314.3	
(内訳) 家庭教育		22	24	25	22	113.6	
公民館学級・講座等延参加人数(合計)	人	5,064	5,982	5,653	5,210	108.5	文化スポーツ課
(内訳) 青少年対象		236	744	688	240	286.7	
(内訳) 成人対象		309	1,469	592	370	160.0	
(内訳) 中高年対象		73	117	611	100	611.0	
(内訳) 高齢者対象		2,573	2,409	2,566	2,600	98.7	
(内訳) 家庭教育		1,873	1,243	1,196	1,900	62.9	
分館事業開催事業数(合計)		1,900	855	1,211	1,900	63.7	文化スポーツ課
(内訳) 講習会・講演会・実習等		32	14	23	25	92.0	
(内訳) 定期講座		144	52	58	140	41.4	
(内訳) 文化・芸術事業等		617	193	300	640	46.9	
(内訳) 体育・スポーツ事業		524	300	397	650	61.1	
(内訳) レク・娯楽活動		83	29	57	75	76.0	
(内訳) 会議		343	172	250	270	92.6	
(内訳) その他		157	95	126	100	126.0	

分館事業参加人数(合計)		38,861	11,009	15,663	37,680	41.6	文化スポーツ課
(内訳)講習会・講演会・実習等		681	203	418	680	61.5	
(内訳)定期講座		1,495	920	771	1,400	55.1	
(内訳)文化・芸術事業等		11,378	1,598	3,671	11,300	32.5	
(内訳)体育・スポーツ事業		12,152	4,250	4,415	12,500	35.3	
(内訳)レク・娯楽活動		6,881	1,034	3,011	6,800	44.3	
(内訳)会議		3,882	1,501	2,183	3,300	66.2	
(内訳)その他		2,392	1,503	1,194	1,880	63.5	

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生涯学習支援事業【文化スポーツ課】	学級・講座の開設、Webを活用した学習形式の実施、障がいの有無に関係ない学習活動の実施、講演会の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップシニア連続講座を開催した。講義7回、フィールドワーク4回、講演会1回を実施し、延べ611人が参加した。 ・スマホ体験会、教室を4地区で開催し、延べ110人が参加した。 ・子育てに悩んでいる方を対象にした家庭教育講座を6回開催し、延べ48人が参加した。 ・市政に関する学習機会の提供として市職員による出前講座を31回開催し、延べ858人が参加した。 ・障がい者の学習機会の充実を図るため、市内の障がいサービス事業所が実施する学習活動への支援に加え、集合型学習としてポッチャを3回開催し、延べ31人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小千谷いきいきガイドや各種講座のチラシによる周知を行っているが、SNSによる効率的な方法を検討する必要がある。 ・スマホ体験会、教室はスマホの機能を使えなかった高齢者に好評であり、スマホを使った学習機会の提供につながっている。携帯電話の主力がスマホになったことから、今後も高齢者でもスマホを上手に活用するための教室を開催し、「スマホにより学習の幅を広げる」ことが有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きステップアップシニア連続講座や家庭教育講座、障がい者の生涯学習支援を実施し、各層への学習機会を提供する。 ・より多くの高齢者がスマホに触れるよう、体験会、教室の地区を拡大し、市内高齢者学級単位で開催する。

事業名【担当課】	事業概要	
人材育成事業【文化スポーツ課】	市内企業と連携した人材活用・育成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム策定委員会により開催内容を精査した。 ・特別講座及びパワーアップ講座を連続する4日間で開催し12名が参加した。 ・開催後、ふりかえりの会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数や講座の開催日の設定などを改善していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修後のアンケートや講師アドバイスも踏まえたプログラムに基づき計8日間で実施する。 ・グループワークやゲームを通し、コミュニケーションの向上やマネジメント・リーダーシップの強化の仕組みを学び、最後にプレゼン発表を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
公民館分館活動支援事業【文化スポーツ課】	出前講座リスト提供、分館活動への助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・市政に関する学習機会を提供するため、職員による出前講座を2回開催し、延べ51人が参加した。 ・分館運営費の助成や物品貸出を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館から情報収集する手段を検討する必要がある。 ・多様なまちづくり団体を育成し、分館ごとの課題を明確にする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、分館関係者会議を地区ごとに開催し、きめ細かな情報収集を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
旧小千谷総合病院跡地整備事業 【にぎわい交流課】	図書館を核とした複合施設の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
・実施設計が完了し、施設建設に着手した。 ・施設の管理運営計画の基本方針を策定した。 ・施設の設計や運営に市民が参画する場として小千谷リビングラボ「at!おぢや」を開催した(7回:オンラインを含む)。	施設のコンセプトを市民に周知する活動や情報発信を進めていく必要がある。	・施設の運営や情報環境など、実際の実働に向けた決定や準備を行う。 ・おぢやリビングラボ「at!おぢや」などを通じ、にぎわいや交流、憩いを創出するような活動を構築するとともに、アーカイブ活動など施設開館後のプログラムを担う人材を発掘する準備を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
生涯学習施設整備事業 【文化スポーツ課】	市民会館設備改修、市民学習センター設備改修	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
【市民会館】大ホール舞台機構更新工事、ガスヒートポンプエアコン3号機更新工事、大ホールワイヤレスマイクrohシステム更新工事 【市民学習センター】屋上防水工事	予定していた工事を履行し、適切に施設整備を進めた。設備も含め、施設の老朽化が進行しており、引き続き計画的な改修が必要である。	【市民会館】ガスヒートポンプエアコン(1、2、4号機)更新工事 【市民学習センター】冷温水発生機密閉膨張タンク取替工事
事業名【担当課】	事業概要	
図書館事業【にぎわい交流課】	読書環境の整備、図書資料の充実、情報活用支援事業	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
・LLブック、大活字本など多様な利用者に対応した資料を収集した。 ・住民センターなど地域に図書を置いている施設を訪問し、地域の実情に合わせた配本を行った。	新しい媒体での資料など、利用者や社会のニーズに合わせた資料を収集、提供していく必要がある。	図書館等複合施設に向けて、紙媒体の図書と合わせてデジタルなどの様々な媒体で情報提供を行う環境を整備する。
事業名【担当課】	事業概要	
子ども読書活動推進事業(再掲) 【にぎわい交流課】	ブックスタート事業、学校読書活動支援事業、ボランティアによる読み聞かせ活動	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
・小中学校学校図書館担当者連絡会の開催(1回)や市内全小中校を訪問し、情報交換を行った。 ・小学校を対象等に団体貸出(延べ439件)やミニ移動図書館(6回)、ブックトーク(14回)を実施した。	・子どもの年齢が上がるにつれて読書をしていない児童生徒の割合が増える傾向にある。 ・子どもたちの年齢やICTの活用等の社会環境に合わせた取組を実施する必要がある。	・児童生徒向けの図書館だよりの発行や学校放送への図書館情報の提供など、児童生徒向けの情報発信をする。 ・ICTの活用等、学校教育や社会の環境に合わせた事業実施が可能となるよう、環境の整備を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	7
総合計画ページ	P.23		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	2	生涯学習の推進
施策	2	青少年の健全育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年への相談支援 ■ 青少年育成指導体制の確保 ■ 家庭教育に対する支援 ■ 地域ボランティアへの活動支援 ■ 勤労青少年への活動支援と活動拠点施設の検討

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
青少年体験学習講座開催回数	回	9	11	14	15	93.3	文化スポーツ課
青少年体験学習講座参加人数	人	342	377	473	500	94.6	文化スポーツ課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
青少年育成事業【文化スポーツ課】	悩み相談、声かけ運動、青少年体験学習の推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成キャンプ 1回(11名) ・手づくり教室への派遣 6回(306名) ・体験活動 7回(156名) 	R3年度より講座開催数が3回増加し、参加者数が96名増えた。また、体験学習の参加者数の増加を促すために、科学研究に関する相談会を3回(参加者6名)、青少年が対象となるイベントへ青少年育成指導委員の派遣を2回(参加者431名)実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・手づくり教室や体験学習の内容の拡充を図る。 ・体験活動を促す事業を行い、体験学習や体験活動の参加者数を増加させる。
家庭教育地域交流振興事業(再掲) 【文化スポーツ課】	保育園、認定こども園、小・中・総合支援学校などと連携した家庭教育講座の充実	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・2園、8小中学校、1団体における親子で学ぶ機会や子育ての悩みを解決に導く講座開催を支援し、講座の充実を図った。 ・家庭でのお子さんとの関わり方などを学ぶ講座を開催した。 	乳幼児期・少年期における子育ての悩みや親子で学べる学習の機会を提供し、家庭教育の普及・振興を図ることができている。 【R3年度】 講座支援数:18回、参加者数:1,188名 講座開催数:7回、参加者数:104名 【R4年度】 講座支援数:19回、参加者数:1,148名 講座開催数:6回、参加者数:48名	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、家庭教育講座の開催を支援する。 ・SNSやアプリ等を利用した広報周知を行うことで情報を届け、より多くの支援ができるように努める。

事業名【担当課】	事業概要	
地域子どもはぐくみ事業 【教育・保育課】	放課後子ども教室の実施、学校支援地域本部の設置、放課後児童クラブとの連携	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・5小学校で計148回放課後子ども教室を実施した。参加延べ人数は児童2,929人、ボランティア627人であった。 ・各小学校のボランティアに保険をかけ、地域住民の学校ボランティアとしての活動を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの放課後の居場所の確保とボランティアがいきがいを感じる場づくりを行っている。 ・ボランティアの高齢化とボランティア数の確保が課題である。 ・実施会場等の関係から、放課後児童クラブと連携が進んでいないのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多くの方からボランティアとして関わっていただけるよう、周知を行う。また、放課後子ども教室のボランティアの資質向上を図るため、研修会を開催する。 ・子どもたちに魅力ある企画の実施を検討する。
事業名【担当課】	事業概要	
勤労青少年への活動支援 【文化スポーツ課】	趣味・教養・キャリア形成等の講座開設・運営、自主活動支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
講座・教室を延べ92回開催した。	勤労青少年の利用者が減少している。社会情勢の変化により、今後のあり方について検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年の利用者を増やすため、引き続き、SNSを活用した広報周知を行う。 ・近隣に新たに整備する(仮称)防災センターの機能を考慮しながら、今後のあり方を検討する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	8
総合計画ページ		P.25	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	1	文化・芸術の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸術鑑賞の機会の拡充 ■ 文化団体などの育成支援の継続

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
芸術文化振興事業参加者数	人	6,725	5,903	8,388	7,000	119.8	文化スポーツ課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
芸術文化振興事業【文化スポーツ課】	市美術展、市民音楽祭、市民芸能まつり、文芸のつどい、芸術鑑賞会、市民オペラの開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展は自主サークル団体などの活動により、出品者数が昨年度から5人増加した。 ・市民音楽祭の出演団体数が昨年度から4団体増加した。 ・市民芸能まつり・文芸のつどいの参加団体数・出品数はほぼ横ばい傾向である。 ・市民オペラ「カルメン」公演の開催(参加者:子ども12名・大人35名、観覧者:1,155名) ・「アミューズ・クインテットコンサート」と「キッズのためのはじめての音楽会」を開催し、幅広い年代の市民へクラシック音楽鑑賞の機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展の市内出品者数の増加には自主サークル団体や初心者美術教室、文化活動を行う高校生の育成効果が徐々に表れている。 ・市民芸能まつりや文芸のつどいの周知方法を検討する必要がある。 ・市民オペラ「カルメン」公演の開催により、文化芸術に関する社会教育関係団体が1つ派生し、活動を続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展については引き続き、初心者美術教室や高校生の育成事業を実施し、芸術・文化活動に親しむきっかけを作り、市展出品者数の増加につなげる。 ・主に市内で活動する文化芸術関係団体と連携し、舞台芸術公演を開催する。

事業名【担当課】	事業概要	
文化振興基金事業【文化スポーツ課】	文化団体などへの活動支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの情操教育活動事業補助 ・小千谷市教育研究会 クラシックコンサート鑑賞(中学1~3年生計334名の参加、2回による分散開催) ・西脇順三郎を偲ぶ会 記念講演会開催、プチどんぐりフェスタ開催、出前講座5回実施 ・おぢや落語を楽しむ会 第20回おぢやれ寄席開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象に文化事業を行う団体の活動を支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、文化事業を行う団体の活動を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	9
総合計画ページ	P.27		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	3	文化の振興
施策	2	文化財等の保存と活用
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 埋蔵文化財の調査・保存 ■ (仮)郷土資料館の整備 ■ 文化財の普及啓発・活用 ■ 後継者の育成

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
小千谷縮布製作技術習得人数	人	18	23	26	28	92.9	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<ul style="list-style-type: none"> ・地域アーカイブ活動の推進: 地域で文化の継承に取り組む人材との意見交換や活動の記録を行う。 地域に眠る文化財や記録類を聞き書きにより保存し、まちあるきや各種講座で公開・活用を行った。 ・文化財を横断した企画展: 【R4実績延3,024人】 これまで単一の文化財のテーマを中心に展示を行ってきたが、「史跡と古文書」「浮世絵と民具」等関連資料を横断的に公開することで観覧者から好評をいただいた。 また、保存団体等関係者と協働した企画展運用に努めている。
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要		
埋蔵文化財調査事業【にぎわい交流課】	遺跡の把握、諸開発との調整、発掘調査		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・上片貝地区の前島遺跡において本発掘調査を行い、中・近世の掘立柱建物・井戸等を伴う集落遺跡を確認した。 ・9件の試掘確認調査を行い、城内地区で平安時代の集落跡、岩沢地区で中世の居館跡を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前島遺跡の成果については、各種展示等にて活用する。 ・試掘確認した遺跡は本発掘調査の要否について、開発事業者と協議が必要となる。また、調査成果について広く周知し、保存に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者へ広く周知し、試掘確認調査の協力を求めるとともに、遺跡の保存に努める。その調査成果について発信を行うことで、埋蔵文化財の普及啓発につなげる。 	
旧小千谷総合病院跡地整備事業【にぎわい交流課】	図書館を核とした(仮)郷土資料館を含む複合施設の整備		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> 若柝収蔵庫の考古資料、城内収蔵庫の古文書や写真について、展示に使用できる資料の把握を行い、市民会館ホワイエにおいて資料展示を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内において未発見資料の確認を行う必要がある。しかし、既存の保有・収集資料でさえ確認作業が困難というのが実態である。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内における既存の保有・収集資料の確認作業を保存団体等と協働し行う。また、古いモノクロ写真等、市民から関心の高い資料の整理作業を複合施設での実施を想定しながら市民と協働して行うことで、市民による主体的な歴史保存につなげる。 	

事業名【担当課】	事業概要	
文化財普及啓発事業【にぎわい交流課】	文化財関連の市民団体などへの支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
縄文時代の暮らしをテーマとした体験講座の実施、戊辰戦争に関わる講座や調査ワークショップ、企画展示など、文化財の普及啓発を行った。	参加者や観覧者アンケートにより満足の声をいただいている。一方で、主体的に事業へ参画する関係人口の増加に努める必要がある。	市民ニーズの高い体験講座を行うことで参加者が次回以降の講師や補助員を務めてくれるような仕組みを構築する。

事業名【担当課】	事業概要	
伝統民俗芸能伝承事業【にぎわい交流課】	郷土芸能団体などへの支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
市独自の補助を活用し、伊米神社(桜町)祭礼衣装の新調を行った。伝統民俗芸能の市民への理解を深めた。	新型コロナウイルス感染症流行の影響で披露等活動の機会を失っており、発表の場を創出する必要がある。	新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮しつつ、市内外で行われている発表会への参加を促進し、保存活動の場を創出する。また、連絡会議を開催し情報共有を行うことで、保存活動における課題解決の機会を設ける。

事業名【担当課】	事業概要	
小千谷縮布技術伝承者養成事業【にぎわい交流課】	技術伝承者養成講習会などへの支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
講座: 緋作り、いざり機、仕上げ 【8日間】10名参加 講習会: 苧績み、緋作り、いざり機、仕上げ 【100日間】15名参加	活動周知により小千谷縮の歴史的重要性について、市内外へ共有する必要がある。また、県内外へ発信を行い、関係人口の増加と幅広い保存活用に努める必要がある。	積極的な情報発信による活動周知を行い、小千谷縮の保存・活用意義等について、市内外へ発信する。講座・講習会等の参加者が今後の活動における関係人口となるよう、意向確認や活動参画を求める機会を設ける。

事業名【担当課】	事業概要	
文化・歴史・産業遺産保存活用事業【にぎわい交流課】	歴史的建造物や景観などの文化財としての指定・保存・活用	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
市へ寄贈を受けた時水地区に存する「習静菴」について、今後の活用へ向け、文化庁に建物2棟の国有有形文化財登録を行った。併せて、保存や公開、活用へ向けて民間事業者へのサウンディング調査及び対話を行った。	調査が完了した10件の建造物について、所有者へ意向確認を行い、保存や活用を推進していく必要がある。	調査が完了した10件の建造物について、国有有形文化財登録に向けた所有者の意向確認を行う。また、登録済の建造物について、活用を促進できるよう、相談機会を設ける。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	10
総合計画ページ	P. 29		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 生涯スポーツの推進 ■ 競技スポーツの推進 ■ 障がい者スポーツの普及 ■ 団体支援、人材育成 ■ 健康・体力づくりの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
週1回以上運動する人の割合	%	31.5	34.9	34.6	60.0	57.7	健康・子育て応援課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

「障がい者スポーツの普及」において「ボッチャ大会」への参加者が増えており、障がいに対する理解を深めながら、共にスポーツに親しむ機会が創出されている。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要		
スポーツ振興事業【文化スポーツ課】	選手の活動支援、各種大会やイベントの開催、ジュニア選手育成強化、関係団体との連携		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を含めて、関係団体と連携して大会やイベントを開催した。 ・アスリート事業補助や報奨金制度を活用して、ジュニア選手育成強化に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会やイベント開催は参加者が固定化されつつある。 ・部活動地域移行を含めたジュニア選手強化方法の充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会やイベントは参加者増加のために、より幅広く情報を発信する。 ・ジュニア選手の育成方法を再検討しながら、関係団体と連携して取り組む。 	

事業名【担当課】	事業概要		
指導者、支援者養成事業【文化スポーツ課】	スポーツ・レクリエーション指導者やボランティア養成講座の開催		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)	
基礎体力づくり運動(走・跳・投)とクロスカントリースキー、野球の指導者講習会を開催した。	中学校部活動地域移行も視野に、質・量ともに指導者の充実が必要である。	地域の人材も発掘しながら、指導者の充実を図る。	

事業名【担当課】	事業概要		
健康づくり事業【健康・子育て応援課/文化スポーツ課】	関係団体や機関と連携し、運動の継続を図る事業の開催		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)	
健康ポイント事業は、健康教室や体力ヘルスチェック測定会を実施し、45人がポイント達成した。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動教室がその後の自主的な運動につながっていない。 ・無関心層などより多くの市民が取り組むきっかけになるよう、事業の周知や関係機関との連携などを図っていく必要がある。 	関係機関と連携した事業の周知や活用にも努めるとともに、より良い事業展開ができるよう、今までの成果を踏まえながら、実施方法を検討する。	

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	11
総合計画ページ	P.31		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	1	人を育み文化の香るまちづくり(教育、文化、スポーツ)
基本方針	4	スポーツの振興
施策	2	体育施設の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 体育施設の整備・充実 ■ 屋外運動公園の改修・設備更新

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
体育施設利用者数(合計)	人	274,496	205,701	252,323	268,400	94.0	文化スポーツ課
(内訳)総合体育館	人	183,033	144,797	169,482	177,500	95.5	
(内訳)市民プール	人	14,148	7,589	9,883	13,700	72.1	
(内訳)東小千谷体育センター	人	20,178	12,023	15,567	19,500	79.8	
(内訳)白山運動公園(野球場)	人	3,384	2,937	4,265	3,300	129.2	
(内訳)白山運動公園(庭球場)	人	10,623	7,169	11,025	10,300	107.0	
(内訳)白山運動公園(陸上競技場)	人	4,617	2,715	4,360	4,300	101.4	
(内訳)白山運動公園(多目的広場)	人	7,849	6,656	8,214	7,600	108.1	
(内訳)白山運動公園(グリーンヒル白山)	人	9,501	5,303	8,171	9,200	88.8	
(内訳)信濃川河川公園(野球場)	人	1,071	1,429	2,023	2,100	96.3	
(内訳)信濃川河川公園(多目的グラウンド)	人	2,827	2,950	5,553	3,400	163.3	
(内訳)千谷運動公園(野球場)	人	2,074	1,057	1,448	2,000	72.4	
(内訳)千谷運動公園(庭球場)	人	4,568	3,200	2,577	4,500	57.3	
(内訳)千谷運動公園(多目的広場)	人	2,780	1,764	2,241	2,700	83.0	
(内訳)南部スポーツ広場	人	3,890	2,862	3,857	3,800	101.5	
(内訳)片貝スポーツ広場	人	4,592	3,250	3,657	4,500	81.3	

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

新型コロナウイルス感染症流行時の施設利用について、適切な使用制限と緩和措置を行った。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
総合体育館整備事業 【文化スポーツ課】	設備更新・修繕	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
【総合体育館】 空調設備用自動制御機器更新や照明LED化改修、メインアリーナ・サブアリーナ屋根修繕を実施した。 【市民プール】 ボイラー更新や照明LED化改修を実施した。	築25年以上が経過し、老朽化が進んできており、今後も計画的な改修が必要である。	【総合体育館】 バasketボールゴール更新(サブアリーナ)やトレーニングルーム空調機器インバータ交換、駐車場車寄せLED化改修、市民プラザ光電分離型感知器交換を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
屋外体育施設整備事業 【文化スポーツ課】	整備方針策定・設備改修	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
白山運動公園陸上競技場のトイレ等整備や備品庫解体を実施した。	施設の老朽化や競技人口の減少等のため、整備方針に基づいた整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外体育施設整備方針に基づく整備計画を作成する。 ・白山運動公園野球場の照明塔修繕を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	12
総合計画ページ	P.34		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	1	子どもを産み育てやすい環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 安心して妊娠・出産・子育てができる支援環境の充実 ■ 医療費助成事業の推進 ■ ベビー・ファースト運動の推進 ■ 母子健康事業の充実 ■ 地域子育て支援拠点事業の充実 ■ ファミリー・サポート・センター事業の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
産後(退院後1か月間)に助産師や保健師等から十分な指導やケアを受けることができたと思う人の割合	%	95.0	87.9	91.6	97.0	94.4	健康・子育て応援課
今後もこの地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	95.0	93.9	93.3	97.0	96.2	健康・子育て応援課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
医療費助成事業【健康・子育て応援課】	子ども医療費助成、不妊治療費助成、妊産婦医療費助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
引き続き、子ども医療費助成や妊産婦医療費助成を実施した。子ども医療費助成額は前年度よりも増加したが、受給者、延べ利用者は減少した。妊産婦医療費助成は申請が1件延べ利用者は2人であった。また、R4年度から特定不妊治療費助成事業のほかに、不妊不育治療費助成事業を開始し、延べ12件助成し、7割において妊娠が成立した。	子ども医療費のR4年度の受給者の減少は出生数の減少や転出などによる資格喪失が要因である。妊産婦医療費助成制度について、妊産婦の疾病の早期発見と早期治療の促進及び妊娠期から産後の経済的負担の軽減を図るために制度の見直しを行い、所得制限を撤廃し、医療費を無償化することとしている。不妊治療及び不育治療は検査も含めて高額な自己負担が生じるため、引き続き経済的負担の軽減を図る必要がある。	子ども医療費助成を拡充し、10月より自己負担を無償化する。また、妊産婦医療費助成は助成方法を申請から受給証提示による方法に変更する。不妊不育治療費助成事業は制度の周知を行いながら継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
母子保健事業【健康・子育て応援課】	妊婦健康診査・歯科検診、うぶごえ教室の開催、妊産婦・新生児訪問指導、乳幼児健康診査、養育支援訪問事業、産後ケア事業、産前産後サポート事業	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
各種母子保健事業を実施した。子育て世代包括支援センターにおいて妊娠届出時のマタニティ面談を実施し、不安や心配事の把握と各種保健事業等の情報提供を行った。妊産婦・新生児訪問の実施など、妊娠期からの状況把握を行い、必要に応じて関係機関と連携して支援継続を行った。うぶごえ教室やBPプログラム、産前産後サポート事業「子育てサロン」を実施し、妊娠中から産後の支援を充実させた。	・子育て世代包括支援センターにおけるマタニティ面談(全件)と関係機関との連携等により早期に不安等を把握し、支援することで産後うつや虐待の予防に取り組んだ。 ・産後うつの早期発見や産婦の孤立防止、育児不安軽減のためにサポート体制を充実させ、支援につながりやすい仕組みを構築する必要がある。	引き続き、子どもや母親が心身ともに健康に過ごせるよう、各種母子保健事業を実施する。 新たな取組として産婦健康診査費用助成や訪問型産後ケア事業を開始し、産後のサポート体制を充実させる。

事業名【担当課】	事業概要	
ベビー・ファースト運動【健康・子育て応援課】	ベビー・ファースト運動の啓発、駐車場マタニティマーク設置費補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
妊娠届出時にマタニティキーホルダーとマタニティエコバッグを配布した。広報誌でベビー・ファースト運動の周知を行った。日本青年会議所が提唱するベビーファースト運動にも参画した。	地域全体で子育てを支える意識を高めるために、ベビー・ファースト運動の啓発や妊婦へのマタニティマークの活用推進を継続する必要がある。	広報誌やポスターでベビー・ファースト運動の啓発や駐車場マタニティマーク設置費補助の周知を図る。妊娠届出時のマタニティキーホルダーやマタニティエコバッグの配布を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
地域子育て支援拠点事業【健康・子育て応援課】	地域子育て支援拠点事業の運営、子育て教室の開催、子育てなんでも相談の実施、SNSの活用による子育て情報の発信及び相談	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・すこやか子育て教室 3講座 141組 278人 ・子育て講座 10講座 88組 126人 ・子育てなんでも相談 13回 34人 ・子育て相談 747件 (来館時731件 予約3件 電話13件) ・親子ふれあいあそびの動画、わんパークのイベント情報の配信 117回	子育ての孤立化を予防するために、保護者交流や相談の場、親子ふれあい遊びを提供してきた。SNSのイベントの情報配信からの参加も増加傾向である。相談件数は増加しており、情報社会でインターネットなどから多くの情報をできるがゆえに不安を抱える親も多く、今後も子育ての孤立化や不安を軽減するために、相談しやすい環境作りが求められる。	遊びと相談の場を提供するほか、SNSによる子育て情報やわんパークのイベント情報等の発信を行い、子育て家庭を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
ファミリー・サポート・センター事業【健康・子育て応援課】	提供会員養成講座の開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
提供会員養成講座を6月、10月に開催した。 ・修了者 11人 ・提供会員 140人 ・活動件数 336件	R4年度の新規提供会員が前年度に比べて11人増加した。引き続き、多様化する依頼内容に対応できる提供会員の養成が必要である。	育児援助の依頼者のニーズは多様化しており、今後求められるニーズに合った提供体制を確保するため引き続き、事業の周知と提供会員養成講座を開催する。

事業名【担当課】	事業概要	
旧小千谷総合病院跡地整備事業【健康・子育て応援課】	子どもが安全で安心して遊ぶことができる屋内施設の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
図書館複合施設として整備するにあたり、子どもが安心して遊ぶことができる屋内施設の整備について検討し、設計が決定した。	施設の設計は完了したが、今後は施設開設後の運用について検討していく必要がある。	施設の運用形態等について検討、協議を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	13
総合計画ページ	P.37		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	1	子育て環境の充実
施策	2	子育て支援の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育てを支援する地域社会づくりの推進 ■ 子どもの貧困への支援 ■ 保育サービスの充実 ■ 保育施設の適正配置の推進 ■ 放課後児童クラブ(学童保育)への支援 ■ ひとり親家庭への支援 ■ 関係機関との連携による児童虐待とDVへの対応

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
保育施設の適正配置推進による保育園及び認定こども園の定員数に対する入園児数の割合	%	73.5	69.7	69.1	80.0	86.4	教育・保育課
学童クラブ(通年型)設置数	団体	10	11	11	12	91.7	教育・保育課

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
保育サービスの充実 【教育・保育課/健康・子育て応援課】	早朝・延長保育、一時保育、土曜日の延長保育、病児病後児保育、通園費補助、医療的ケア児の支援体制の検討	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
【教育・保育課】 ・早朝保育(利用実人数:8園30人) ・土曜日を含む延長保育(利用実人数:520人) ・一時保育(預かり児童延人数380人) 【健康・子育て応援課】 病児病後児保育室を利用してもらうことで、保護者が安心して就労できるような環境が整えられた。	【教育・保育課】 早朝保育や土曜日を含む延長保育、一時保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援した。また、通園費補助により保護者の経済的負担の軽減を図った。 【健康・子育て応援課】 R4年度利用延人数は106人で、昨年より74人増加しニーズが高まっている。R5年度から病児病後児保育室の利用料を引き下げたことにより、さらなる利用者の増加が見込まれるため、受入体制の強化が必要となる。	【教育・保育課】 早朝・延長保育の一部を無償化し、子育て支援を拡充する。 【健康・子育て応援課】 引き続き、広報やホームページ、保育園、認定こども園、わんパーク等での周知を行うとともに、気軽に利用していただけるよう、見学者の受入れを行う。また、利用者増に対応するため、受入体制を整える。

事業名【担当課】	事業概要	
認定こども園支援事業【教育・保育課】	施設整備費補助、運営費補助(再掲)	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
国や県の補助金を活用し、安定的な運営を支援した。	国や県の補助金を有効活用し、私立認定こども園の安定的な運営支援を行った。	引き続き、国や県の施設整備費や運営費に係る補助制度を有効活用できるよう、認定こども園に情報提供するとともに、国や県、市による認定こども園に対する運営費補助を行い、安定的な運営を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
保育施設の適正配置の推進 【教育・保育課】	保育施設の適正配置の推進、保育サービスの向上	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R2年度に策定した保育園適正配置基本方針や地域別・年齢別の児童数に基づき、適正配置実施計画について検討した。	出生数の年による変動幅が大きいため、児童数の推計が難しく、適正配置実施計画の策定に苦慮している。	保育施設の老朽化が進んでいるため、地域別・年齢別児童数の推計に基づき、保育施設の適正配置について検討する。
事業名【担当課】	事業概要	
放課後児童健全育成事業 【教育・保育課】	設置団体への運営費補助、空き教室等の活動場所の確保支援、放課後子ども教室との連携	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・通年開設11クラブ ・長期休業期間のみ開設1クラブ	西小千谷地区においてクラブの規模に対して利用人数が多いことから、受入体制の確保と保育の質を高めていくことが必要である。	引き続き、学童クラブの設置団体へ運営費の補助を行うとともに、西小千谷地区で新規開設予定がある通年開設クラブへの支援も含め、適切な環境整備を進める。
事業名【担当課】	事業概要	
ひとり親家庭支援事業 【健康・子育て応援課】	児童扶養手当の支給、医療費助成、就労支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
受給者への手当の支給及び医療費の助成を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として生活支援特別給付金、物価高騰対策として価格高騰緊急支援給付金の支給を行った。	ひとり親世帯は時間的・経済的負担が大きく、加えて今般の物価高騰の影響を大きく受けている。就労している方は多いが、子育てするために経済的な支援を必要としない程度まで自立できる方は少ない。	就労支援やキャリアアップのための制度周知に加え、ひとり親にとって重要な養育費の確保支援に関する国や県の制度の周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
児童虐待・DV防止ネットワーク事業 【健康・子育て応援課】	小千谷市子どもを守る地域連絡会参画団体の連携強化	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・小千谷市子どもを守る地域連絡会の関係機関による代表者会議を1回、実務者会議を3回、個別検討会議を8回実施し、連携強化・支援状況等の共有に努めた。 ・関係機関職員のスキルアップ及び連携強化のため、児童虐待防止研修会を実施した。	児童が所属する認定子ども園や保育園や小中高等学校等の関係機関と連携し、虐待を受けている可能性のある児童の早期発見に努めている。また、相談内容も複雑化・多様化してきていることから関係機関職員への対応能力の向上にも努め、相談支援体制を強化していく必要がある。	関係機関の組織変更や人事異動を考慮し、各種会議等を通じて、小千谷市子どもを守る地域連絡会の周知や関係機関の連携強化に引き続き努める。

事業名【担当課】	事業概要	
子どもの貧困対策 【教育・保育課/福祉課】	就学援助制度、子どもの学習支援・生活支援事業	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【教育・保育課】 就学援助について、児童生徒が就学するために必要な費用を負担することが困難な方に対して学用品費などを支給した。</p> <p>【福祉課】 貧困の連鎖の防止のため、「子どもの学習・生活支援事業」を実施し、支援が必要な子ども3人に対して延べ47回支援を行った。</p>	<p>【教育・保育課】 生活困窮家庭に対して就学に必要な学用品費などを支給することで教育の機会均等が図られた。</p> <p>【福祉課】 事業によって支援した子どもが進学するなど、一定の成果を上げている。今後、関係機関と連携しながら、さらなる事業の周知を図ることが必要である。</p>	<p>【教育・保育課】 引き続き、生活困窮家庭に対して学用品費等の支給を行い、子どもの貧困支援を行う。</p> <p>【福祉課】 引き続き、支援が必要な子どもに対して事業を実施し、貧困の連鎖の防止に取り組む。関係機関と連携しながら、支援が必要な子どもの把握や事業の周知に努める。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	14
総合計画ページ		P.40	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	1	健やかな体づくりの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康づくりの推進 ■ 生活習慣病予防対策の推進 ■ 母子保健事業(乳幼児期・学童思春期)の推進 ■ 食育の推進 ■ 歯科保健の推進 ■ 感染症予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
特定健康診査実施率	%	57.7	58.8	60.8	65.0	93.5	健康・子育て応援課
特定保健指導実施率	%	35.9	27.0	27.7	45.0	61.6	健康・子育て応援課
がん検診受診率(胃がん)	%	24.7	20.6	20.5	28.0	73.2	健康・子育て応援課
がん検診受診率(大腸がん)	%	35.9	30.5	31.1	37.0	84.1	健康・子育て応援課
がん検診受診率(肺がん)	%	50.2	39.6	39.6	55.0	72.0	健康・子育て応援課
がん検診受診率(子宮頸がん)	%	37.4	35.6	35.1	39.0	90.0	健康・子育て応援課
がん検診受診率(乳がん)	%	44.7	46.1	41.2	46.0	89.6	健康・子育て応援課
朝食を毎日食べる成人の割合*	%	83.4	-	81.2	90.0	90.2	健康・子育て応援課
1年間に治療や健診で歯科医院を受診した人の割合(20歳以上)*	%	44.3	-	45.3	50.0	90.6	健康・子育て応援課

*基準値H29年度(健康づくり意識調査年度)

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
健康づくり推進事業 【健康・子育て応援課】	健康福祉まつり、町内健康づくり事業、保健推進員・食生活改善推進委員の活動支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉まつりは新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、新しい生活様式を取り入れた形で試行的に「おぢや健康講演会」として開催した。 ・保健推進員自主活動は19町内で実施し、473人が参加した。 	感染症の動向を踏まえ、感染予防対策を講じた上で、工夫しながら健康に関する普及啓発活動を実施する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応を考慮しつつ、市民の自主的な健康づくりの推進を図るため、今年度も引き続き講演会形式での開催を検討する。 ・保健推進員による町内での健康講座(自主活動)を開催し、健康に関する情報発信を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
健康教育事業【健康・子育て応援課】	生活習慣病予防・糖尿病予防・歯科疾患予防・健康ポイント事業(フレイル・ロコモ予防)	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・保健推進員による自主活動では「生活習慣病予防」「歯周疾患予防」「フレイル予防」などをテーマに実施した。 ・健康ポイント事業では地域や夜間、土曜日に健康教室を実施し、運動習慣のきっかけづくりとなる活動を行った。 	<p>新型コロナウイルス感染症の流行により、健康教育の機会が減少しているが、市民が自分の健康は自分で守っていけるよう、引き続き感染予防対策や媒体を工夫しながら、取り組んでいく必要がある。</p>	<p>各種事業において、感染症の動向を見ながら健康教育を実施することで、健康増進や生活習慣病予防の底上げを図る。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
健康相談事業【健康・子育て応援課】	特定健康診査結果説明会、糖尿病予防相談会	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、特定健診結果説明会は個別相談として実施した。健診結果を事前送付としたため、指導率は集団時よりも約2割減少している。</p>	<p>健康相談は生活習慣を見直すための意識付けとなる大事な機会であり、行動変容のきっかけとして効果的である。また、早期受診や重症化予防にもつながることから、指導率向上の取組が必要である。</p>	<p>R4年度と同様、感染症拡大防止の観点から個別相談のみを実施する。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
訪問指導事業【健康・子育て応援課】	各種健診結果の要指導者等への訪問指導	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>生活習慣病予防のための要医療者訪問や健診未受診者訪問、がん検診要精検者訪問など、生活改善や受診勧奨のための訪問指導を行った。</p>	<p>訪問での受診勧奨によりがん検診要精検者の受診率を維持することができ、医療受診につながられた。継続した保健指導が必要なケースは、臨時看護師による訪問につなげている。</p>	<p>健診後の事後フォロー体制として訪問による関わりは重要であり、引き続き生活改善をはじめとする本人がより健康行動が取れる支援を行う。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
健康診査事業【健康・子育て応援課】	特定健康診査、血糖検査、肝炎ウイルス健診、骨粗鬆症健診、人間ドック	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査は新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら実施した。特定健康診査は新型コロナウイルス感染症流行前の水準には届かないものの、受診者数は徐々に戻りつつある。 ・肝炎ウイルス検診や骨粗鬆症検診はフレイル予防のための運動器科学講座や健康ポイント事業とタイアップして実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診はレディース検診(胸部レントゲン検査、特定健康診査)の申込者数が増加傾向にあり、ニーズが伺える。 ・骨粗鬆症検診は働き盛り世代の受診率を向上させる取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査はレディース検診の枠を増やし、受診しやすい体制整備を推進する。 ・骨粗鬆症検診は働き盛り世代の受診率向上を目指し、引き続き休日検診日を設ける。

事業名【担当課】	事業概要	
がん検診事業【健康・子育て応援課】	胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> がん検診は新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら実施した。肺がん検診は山間部の地域で単独実施日を設けた。乳がん検診は施設での単独実施日を設け、受診しやすい体制整備を行った。 乳がん検診や子宮頸がん検診は無料クーポン対象の未申込者に対して再通知を行ったことで、新たに乳がん検診3人、子宮頸がん検診4人の受診につながった。 	<p>全てのがん検診で休日検診を実施しており、70歳未満の受診者の割合が高く、若い世代の受診機会につながっている。がん検診の受診率は減少傾向にあることから、保健事業を通じて一次予防や検診受診の必要性を継続して普及啓発する必要がある。</p>	<p>引き続き、日曜検診や総合健診、がんセット検診、肺がん・乳がんの単独検診を実施することで受診しやすい体制設備を行う。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
母子健康事業(乳幼児期・学童思春期) 【健康・子育て応援課】	乳幼児期・学童思春期の健康づくり、メディアコントロール意識啓発	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健康診査において育児状況や生活習慣を把握し、個別に保健指導を実施した。 乳幼児期・学童思春期の各期において生活習慣のアンケート調査を実施した。 子どもの健康づくり連絡会や学童思春期保健連絡会において関係機関と共有し、生活リズムの改善について子どもや家庭に啓発した。 	<p>生活習慣のアンケート調査結果から、子どもの朝食摂取率の向上や適切な睡眠時間の確保が課題であることが分かった。メディア利用時間も含めた生活リズムの改善に向けて、引き続き取り組む必要がある。</p>	<p>乳幼児期からの生活習慣確立のため、乳幼児健診等を通じて養育者の意識付けを図るとともに、関係機関と連携した啓発を継続する。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
食育推進事業【健康・子育て応援課】	食生活改善運動、食生活改善推進委員の育成、食に関する実態把握及び普及啓発、地産地消の推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 親子の食育教室は新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、郵送等でのやりとりとし、24組の親子が参加した。デイホームではフレイル予防の講話等を3回実施し、合計で44人が参加した。 食生活改善推進委員の養成講座を開催し、受講した3人全員が入会した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症流行のため、対面での活動が制限されたが、実施体制の見直しや感染対策を講じながら、活動を行うことができた。 食生活改善推進委員の会員は減少傾向にあることから、養成講座の開催を継続し、会員の増加を目指すとともに、協議会活動の活性化を図る必要がある。 	<p>R4年度と同様、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら各種事業を実施する。研修や自主活動を通じて、会員同士の交流を深めるとともに、知識や技術を向上させる。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
歯科保健事業【健康・子育て応援課】	幼児歯科検診、妊婦歯科検診、成人歯科検診、後期高齢者歯科健診、むし歯予防教室	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>園児を対象にむし歯予防教室を実施し、209人が参加した。成人歯科検診は60歳を対象に受診勧奨を実施した。全体で294人が受診した。R4年度から新たに後期高齢者歯科健診を開始した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、幼児期の保護者への啓発の機会が減少している。仕上げみがき用歯ブラシの使用率が減少傾向である。 成人等歯科検診は受診率が減少している。個別の受診勧奨や保健事業と連携した事業の周知が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児歯科検診やむし歯予防教室での保護者へ啓発を再開する。 成人歯科検診では対象者への個別受診勧奨を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
感染症予防事業【健康・子育て応援課】	予防接種、結核健診、新たな感染症への防疫対策、インフルエンザ予防接種助成事業の拡充	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種を継続した。 ・妊婦や子どものインフルエンザ接種費用助成事業を開始した。 ・子宮頸がん予防ワクチン接種の勧奨を再開した。 	<p>国の通知により、子宮頸がん予防ワクチンの勧奨が再開し、接種者が増加している。更なる接種率の向上を図る必要がある。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を含めた各種予防接種の勧奨を継続し、感染症のり患と重症化を予防する。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	15
総合計画ページ		P.43	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	2	健康長寿の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康保持・増進対策の推進 ■ 地域支援事業の推進 ■ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 ■ 感染症予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
特定健康診査受診率(75歳以上)	%	24.3	23.6	25.9	25.0	103.6	健康・子育て応援課
インフルエンザ予防接種率(65歳以上)	%	52.1	53.0	53.0	67.0	79.1	健康・子育て応援課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
健康増進事業【健康・子育て応援課】	健康寿命延伸・フレイルとロコモ予防医学講座、健康診査、がん検診、健康教育、健康相談、訪問指導、人間ドック	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・各種健診及び人間ドックは新型コロナウイルス感染症流行時における健康管理の重要性を周知して実施した。 ・糖尿病性腎症重症化予防対策の一環として新たに糖尿病治療中断者への訪問を行い、受診勧奨や生活指導を実施した。 	引き続き、健診後の事後フォローとして特定健診結果説明会や訪問指導、特定保健指導等の機会において、要医療者への受診勧奨や重症化予防のための生活指導を行う必要がある。また、健診未受診者に対して訪問やはがき等による受診勧奨を行い、自分の健康は自分で守ることへの意識付けが必要である。	R5年度開始の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」を関係機関と連携して進め、全ての世代において切れ目なく生活習慣病重症化予防を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
介護予防・日常生活支援総合事業、 包括的支援事業【福祉課】	一般介護予防事業、介護予防・生活支援サービス事業、認知症施策、生活支援体制整備事業（地域支え合い事業）	
①R4年度の実施状況 （具体的な取組内容・成果）	②現状分析 （現状・課題等）	③R5年度の進め方 （取組・改善策等）
<p>・介護予防普及啓発事業を実施した。 【各種介護予防講座】 192回 延2,601人</p> <p>・要支援認定者及び事業対象者を対象に、感染症拡大防止対策を講じた訪問型及び通所型介護予防サービス、住民主体による支援、専門職等による短期集中予防事業などを実施した。 【運動器の機能向上事業】 ①体しゅっきり教室 実人数26人 延人数156人 ②アクアチャレンジ教室 実人数7人 延人数60人 【口腔機能向上事業】 歯つらつ教室 実人数7人 延人数17人 【住民主体による支援】 実人数16人 延人数366人 など</p> <p>・認知症の対応や理解促進のため、「認知症予防と介護の市民講座(参加人数136人)及び「認知症徘徊模擬訓練(参加人数54人)」を開催した。</p> <p>・認知症支援ガイド(ケアパス)の作成や出前講座、認知症サポーター養成講座、認知症カフェの開催などを通して、認知症施策を推進した。</p> <p>・各地域における支え合い組織を一覧にした「地域支え合いマップ」を更新し、普及啓発に努めた。</p> <p>・第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、千谷川町内における支え合い組織の立ち上げを支援した。</p>	<p>・高齢者の感染症に対する不安や、感染症拡大防止対策を講じた事業の縮小により、各事業の参加者数は伸びなかった。</p> <p>・総人口は減少し、高齢者人口もピークを迎えているが、後期高齢者人口の比率が今後上昇していくことから、介護予防事業や生活支援サービスのニーズは継続するものと推測する。</p> <p>・高齢化率は年々上昇しているが、介護認定率は横ばいに推移しており、長年の健康づくり事業や介護予防事業の取組の成果と考えられる。</p> <p>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施によりデータ分析を活用し、介護が必要な状態になる前からの取組が必要である。</p> <p>・共生と予防を両輪とした認知症への理解促進の取組が必要である。</p> <p>・団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、介護や支援が必要になっても支え合いや助け合いにより地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステム体制の構築を推進している。</p>	<p>・引き続き、介護予防事業や認知症対策などの各種事業を実施する。</p> <p>・複数の疾患や加齢に伴うフレイルなど、高齢者の特性を踏まえた介入が介護予防に重要であり、通いの場等への積極的な関与を行い、健康教育及び健康相談を実施する。</p> <p>・高齢者の要介護状態への移行を防ぎ、介護予防と自立支援の意識を促すための市民講演会を開催する。</p> <p>・認知症の対応や理解促進のため、引き続き「認知症予防と介護の市民講座」や「認知症徘徊模擬訓練」を開催する。</p> <p>・住民主体による生活支援への手助けを行う第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、生活支援体制の充実に取り組む。</p> <p>・城川地区を重点的に地域支え合い事業を促進する。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	16
総合計画ページ	P.45		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	2	健康づくりの推進
施策	3	心の健康づくりの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 精神保健対策の推進 ■ 自殺予防対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
ストレスを感じる人の割合	%	94.3	-	-	65.0	-	健康・子育て応援課
ストレスの解消ができています・何とかできています人の割合	%	61.5	-	66.5	70.0	95.0	健康・子育て応援課
各種相談会を知っている人の割合	%	32.4	-	62.6	50	125.2	健康・子育て応援課

※基準値H29年度(健康づくり意識調査年度)

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

ひきこもり対策として当事者の居場所の設置に向けた視察研修や考える会での意見交換など、家族会や心のサポーターと協働で取り組んでいる。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
精神保健事業【健康・子育て応援課】	精神障がい地域包括ケア連絡会、心の健康講演会、精神保健福祉相談会、訪問指導	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい地域包括ケア連絡会を3回開催した。 ・統合失調症の理解をテーマに講演会を開催し、85人が参加した。 ・臨床心理士による心の相談会を4回開催し、7件の相談に対応した。また、保健師が面談22件、電話149件、訪問378件の相談に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションが精神障がい地域包括ケア連絡会に加わったことで、精神障がい者の家族に関する現状や課題、長期入院者の状況を把握することができている。 ・相談窓口の認知度は増加している。ひきこもりや子どもの不調への対応など相談内容が多様化しているため、他機関と連携して対応する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりを地域から理解してもらうための心の健康講演会を開催する。 ・臨床心理士の相談会は年5回に増やし、相談体制の充実を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
自殺対策強化事業【健康・子育て応援課】	いのちとこころの支援連絡会、地域見守り体制の推進、ゲートキーパーの養成、相談窓口の周知	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・いのちとこころの支援連絡会を3回開催した結果、約44%が連携が進んだ、約89%が連携が取れていると構成員から評価を受けた。 ・保健推進員と協働し、うつ病など心の不調と周囲の気づきについての講座を開催し、20人が参加した。 ・地域住民を対象としたゲートキーパー養成講座は26人が、教職員等支援者を対象とした講座には30人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺率の高い働き盛り世代(特に男性)への普及啓発が必要である。 ・教職員からは生徒児童への相談対応のスキルアップや専門機関との連携の仕方が習得できる講座の開催が期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き盛り世代へのアプローチとして重点地区を定め、保健推進員と協働して普及啓発や地域づくりのための講座を開催する。 ・教職員向けのゲートキーパー養成講座では子どものSOSに気づき、適切に対応できるよう、学校だけでなく子育て関連機関と一緒に取組を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	17
総合計画ページ	P.47		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	3	医療体制の充実
施策	1	地域医療の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域医療の充実 ■ 診療所の開設等支援 ■ 感染症予防対策の推進 ■ 新たな感染症対策の推進 ■ 夜間・休日診療の確保 ■ 在宅医療と介護の連携の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
診療所の新規開設数(計画期間中の累計)	件	—	0	1	1	100.0	健康・子育て応援課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
中核医療機関支援事業 【健康・子育て応援課】	厚生連小千谷総合病院への運営費助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院の安定的な運営(医師、看護師及び医療技術者の確保)のための助成を行った。	病院開設以来25診療科を維持し、地域の中核医療機関として安定的な医療提供体制を維持している。	引き続き、厚生連小千谷総合病院の安定的な運営のための助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
救急医療専用病床運営事業 【健康・子育て応援課】	救急医療専用病床を保有する病院への運営支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院における救急医療専用病床6床の確保を支援し、運営費を補助した。	救急医療専用病床の確保により、今後も地域医療の充実と市民が安心できる医療体制を確保する必要がある。	救急医療体制の充実のため、厚生連小千谷総合病院への支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
小児医療専用病床運営事業 【健康・子育て応援課】	小児医療専用病床を保有する病院への運営支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
厚生連小千谷総合病院における小児医療専用病床7床の確保を支援し、運営費を補助した。	地域医療の充実や安心して子どもを育てていく上で大切な小児の医療体制を確保していく必要がある。	小児医療専用病床を確保するため、支援を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
医師・医療従事者の人材確保 【健康・子育て応援課】	大学寄附講座による医師派遣、実習生の受け入れ及び指導者研修	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟大学との協定に基づく寄附講座を実施した。 ・期間:2021.10.1～2024.9.30 ・寄附金額:60,000千円(3年間)	引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、フレイル予防に取り組む必要がある。	新型コロナウイルス感染症の5類移行後も必要な感染症対策を講じながら、フレイル予防の充実を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
診療所開設等支援事業 【健康・子育て応援課】	診療所の新規開設等への支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金による支援を実施した。 ・既存医院の改築1件(内科) 10,000千円 ・新規医院の開設1件(耳鼻科) 20,000千円	当初予算の想定を上回る申請に対して補助し、新規開設を支援することができたが、引き続き地域医療の維持や充実のため、診療所の確保は重要な課題である。	これまでの支援に対する事業評価と今後の取組に関して検討を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
在宅医療・介護連携推進事業 【福祉課】	在宅医療介護連携協議会、多職種連携研修会、在宅医療・介護連携に関する相談支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療介護連携協議会(2回)や実務者会議(10回)を開催した。関係者の顔の見える関係をつくり、連携体制の強化を図った。 二次医療圏域で利用する「おちや入退院支援連携ガイド」を作成するとともに、入退院支援勉強会をWeb開催し、108人が参加した。 多職種連携研修会「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」をWeb開催し、75人が参加した。 在宅医療に関する実態把握調査を実施した。調査人数(本人及びその家族)1,089人 在宅医療・介護連携相談支援業務委託を実施した。相談件数22件 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療と介護を一体的に提供するために関係者間で情報共有や意見交換ができる会議、研修会等を開催することにより、連携を深めていく必要がある。 安心して生活の場に戻ることを支援する「おちや入退院支援連携ガイド」の運用に関する課題を把握する必要がある。 もしもの時に望む医療やケアについて家族や医師などとあらかじめ話し合う「ACP(人生会議)」というプロセスを市民へ普及啓発する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療介護連携協議会や実務者会議、多職種連携研修会を継続開催し、連携体制の強化に取り組む。 入退院支援勉強会を開催する。 ACP(人生会議)を行うきっかけを与えるため、「わたしの想い生き方ノート」を作成する。 ACP(人生会議)に関する市民講演会を開催する。

事業名【担当課】	事業概要	
感染症予防事業 【健康・子育て応援課】	予防接種、結核検診、新たな感染症への防疫対策	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
予防接種率の向上を目指し、保健事業や訪問活動の中で接種勧奨を行った。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種においては集団接種会場を複数設けるなど、市民の利便性に配慮し、安心して受けることができる接種機会を提供した。	個別勧奨の文書を送付することで、県平均よりも高い接種率につなげることができた。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は引き続き、市民の利便性に配慮し、安心して受けることができる接種機会を提供する必要がある。	引き続き、接種勧奨を実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
小児救急医療運営事業 【健康・子育て応援課】	中越子ども急患センターの運営支援、普及啓発	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
小児救急診療運営のための経費に対して支援を行い、市内小児の急患の重症化防止につながった。	小児救急に対応する事業者の維持運営を支援するとともに、市民への普及啓発を行う必要がある。	引き続き、小児救急診療の運営を支援する。
事業名【担当課】	事業概要	
休日・夜間救急医療運営事業 【健康・子育て応援課】	長岡休日・夜間急患診療所への運営支援、普及啓発	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
休日・夜間の救急診療運営のための経費に対して支援を行い、市内の急患の重症化防止につながった。	平日夜間や休日に対応する事業者の維持運営を支援するとともに、市民への普及啓発を行う必要がある。	引き続き、休日・夜間の救急診療の運営を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	18
総合計画ページ	P.49		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	1	障がい者福祉の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい者計画及び障がい(児)福祉計画の推進 ■ 相談支援体制の強化 ■ 就労支援体制の推進 ■ 障がい者施設整備に対する支援 ■ 障がい者理解の促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
障がい者施設の整備数(計画期間中の累計)	件	—	1	1	3	33.3	福祉課

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
障害者自立支援給付事業【福祉課】	居宅介護、生活介護、就労移行支援、就労継続支援、施設入所支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
障がいのある方の自立した生活のために、障がい福祉サービスの利用計画に基づいて適正なサービス提供を行った。 【実績】※実利用者数 ・居宅介護:32人 ・生活介護:86人 ・就労移行支援:12人 ・施設入所支援:47人	関係事業所との連携により、障がい福祉サービスの利用計画作成やサービス提供を行うことができています。引き続き、適切な障がい福祉サービスの提供ができるよう、提供体制を確保していく必要があります。	障がいのある方の自立した日常生活を支えるため、関係機関と連携して障がい福祉サービスの提供体制を確保する。

事業名【担当課】	事業概要	
地域生活支援事業【福祉課】	相談支援、日中一時支援、移動支援、日常生活用具給付支援、コミュニケーション支援事業、成年後見制度利用支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行により訪問や面会、同行、来所相談等が制限された時期があったが、リモート面会や電話相談等によって柔軟に対応した。感染症の流行が落ち着いている時期には訪問や同行、来所相談等が増えたことにより相談実績は増加となり、福祉サービスや相談支援を必要としている方へ必要な支援を実施することができた。 ・日常生活用具給付等事業については、562件の給付を行った。 ※R4相談実績(前年度との比較) ・市内事業所 11,392件(+626件) ・基幹相談支援センター 2,203件(+375件)	相談支援を必要としている方や新規で福祉サービス利用を希望している方に多様な方法で対応したことにより、相談支援体制の充実が図れた。しかし、相談支援のニーズは増加傾向にあり、現状の相談支援体制ではニーズに対応することが困難になる可能性があるため、今後の相談支援体制について検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人が住み慣れた地域で自立した生活を送るために、引き続き各種事業を実施する。 ・相談支援事業所の協働体制等、増加する相談支援ニーズに対応するための体制整備に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
在宅障がい者支援事業【福祉課】	外出支援サービス(タクシー券利用助成等)、住宅改修費補助、通所サービス事業 所通所費助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・在宅障がい者支援の各種事業を実施した。 ・申請のあった対象者に対してタクシー券を交付した。(406人、利用率55.4%) ・住宅改修費の補助実績0件	障がい者が在宅での生活ができるように、引き続き各種支援事業を実施する必要がある。また、必要な人が助成等を受けられるよう、制度の周知が必要である。	引き続き、各種支援事業を実施する。また、必要な人が助成等を受けられるよう、サービスガイドブックやホームページ、広報おちやを通じて制度の周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
障がい福祉施設整備事業費補助事業【福祉課】	施設整備費補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
当市において不足している障がい福祉サービスを充足するために施設整備費補助を実施したが、施設整備の実績はなかった。	社会福祉法人等に施設整備事業費補助の周知を行い、施設の充実を後押しする必要がある。	引き続き、当該補助事業を実施するとともに、その周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
健康福祉まつり【福祉課】	障がい福祉サービス事業所・団体の活動PR、障がい者の作品展示、自主作品の販売	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
新型コロナウイルス感染症の流行によりR4年度は健康福祉まつりが開催されなかった。	健康福祉まつりが開催されない場合、障がいや障がいのある人に対する理解を深める機会の確保が難しい。	健康福祉まつりが再開された場合は、障がいや障がいのある人に対する理解を深めるための機会として活用する。健康福祉まつりが再開されない場合の啓発方法について検討・調整を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
意思疎通支援事業【福祉課】	手話通訳者(奉仕員)・要約筆記者(奉仕員)派遣、手話奉仕員養成講座	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・聴覚障がい者の意思疎通を円滑にするために、手話奉仕員と要約筆記奉仕員の派遣を実施した。また、手話奉仕員の育成支援を行った。 ・市の窓口における意思疎通を円滑にするために、「みえる通訳」を導入した。 【意思疎通支援事業実績】 個人派遣40回、実利用者8人、講演会派遣4回 【手話奉仕員養成講座】※入門課程 修了者4人 【みえる通訳活用実績】 利用者11件	・新型コロナウイルス感染症の流行時においても講演会等を再開する兆しが見られ、前年度と比較して講演会での意思疎通支援事業の利用実績が2回から4回に増加した。 ・「みえる通訳」の導入により、相談や説明等、窓口における意思疎通支援の充実を図ることができている。 ・聴覚障がい者との円滑なコミュニケーションのため、引き続き事業を実施する必要がある。	聴覚障がい者とのコミュニケーションを支援するため、引き続き手話奉仕員等の派遣や「みえる通訳」の活用を行う。また、手話奉仕員の養成講座を実施し、人材の育成と確保に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	19
総合計画ページ	P.52		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	2	生活困窮者への支援
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 包括的支援の推進 ■ 早期支援の実施 ■ 地域支援体制の確保

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
(掲載項目なし)							

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
自立相談支援事業【福祉課】	生活困窮者の実情把握及び個々の支援プラン策定による包括的支援の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
自立相談支援員を配置し、生活困窮者の相談支援を行うとともに、生活困窮者に対する支援のあり方について各分野(弁護士、ハローワーク等)の専門委員で構成される生活困窮者支援調整会議を2回開催し、支援状況について多角的な視点と深い知見による助言と指導を受けた。	生活困窮者は複合的な問題を抱えていることが多く、今後も関係機関と連携して支援に取り組む必要がある。	引き続き、自立相談支援員を配置し、生活困窮者の相談支援を行うとともに、定期的に生活困窮者支援調整会議を開催し、支援状況や支援のあり方について助言と指導を受けながら、事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
住居確保給付金の支給【福祉課】	離職による住居及び就労の確保に向けた支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
延べ9人に対して給付金の支給及び就労支援を実施した。	新型コロナウイルス感染症の流行による経済情勢の悪化により、R4年度もR2～3年度と同程度の申請があった。今後も法令に基づき適切に支援を実施する必要がある。	引き続き、法令に基づき適正に事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
就労準備支援事業【福祉課】	就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
就労に向けた第一歩として本人のやる気を取り戻し、ひきこもりを防止するため、農業管理センターで内職作業に取り組んでもらい、延べ256人に対して支援を実施した。	支援の結果、一般就労につながったケースもあったが、障がい等の理由により就労が難しい場合は障がい者支援施設につなげるなど、関係機関と連携して本人の状態に応じた支援を行う必要がある。	引き続き、就労準備支援員を配置し、就労に向けた支援を実施する。障がい等の理由により一般就労が難しいケースについては、障がい者支援施設につなげるなど、関係機関と連携して本人の状態に応じた支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
家計改善支援事業【福祉課】	家計収支に関する課題の評価・分析及び必要な情報提供・助言等の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
債務問題解決のために延べ16人に対して家計の再建支援を実施した。	生活困窮者は債務問題を抱えているケースが多いことから、社会福祉協議会や弁護士等の関係機関と連携し、引き続き支援を行っていく必要がある。	引き続き、家計改善支援員を配置し、生活困窮者に対する家計の再建支援を行う。債務問題を抱えているケースが多いことから、社会福祉協議会や弁護士等の関係機関と連携し、支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
子どもの学習・生活支援事業(再掲) 【福祉課】	生活困窮世帯の子どもの学習支援、生活習慣・育成環境の改善に関する助言等の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
貧困の連鎖を防止するため、「子どもの学習・生活支援事業」を実施し、支援が必要な子ども3人に対して延べ47回支援を行った。	支援した子どもが進学するなど、一定の成果を上げている。今後、関係機関と連携しながら、さらなる事業の周知が必要である。	引き続き、支援が必要な子どもに対して事業を実施し、貧困の連鎖の防止に取り組む。関係機関と連携し、支援が必要な子どもの把握や事業の周知に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
生活保護受給者等就労自立促進事業 【福祉課】	ハローワークと連携した就労支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
ハローワークと連携して事業を実施し、就職の目標者数16人に対して20人が就職した。	ハローワークとの連携による「生活保護受給者等就労自立促進事業」を実施することで、就労支援を効果的に実施できている。今後もハローワークと連携した就労支援が必要である。	ハローワークとの連携による事業の実施により、生活保護受給者や生活困窮者への就労支援を効果的に実施し、引き続き、ハローワークと連携した就労支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	20
総合計画ページ	P.53		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	2	子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)
基本方針	4	支えあう福祉社会づくり
施策	3	高齢者福祉の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進 ■ 生きがい対策の推進 ■ 地域包括ケアシステムの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
デイホーム団体数	団体	10	10	10	10	100.0	福祉課
デイホーム会場数	会場	27	27	28	29	96.6	福祉課
デイホーム延べ利用人数	人/年	19,443	17,318	17,919	21,000	85.3	福祉課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生きがい対策事業【福祉課】	生きがい対応型デイサービス、ふれあいいいききサロン事業補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の閉じこもり予防や介護予防のための「デイホーム」を地域に委託して実施した(10団体28会場)。 ・市内39会場で実施された「ふれあいいいききサロン事業」の事業費を補助した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイホームやふれあいいいききサロンは地域が主体となって介護予防や健康づくりなどを目的とした通いの場、集いの場である。定期的な外出や交流により足腰や頭、口を使うことで閉じこもりを 방지、介護や認知症を予防することにつながっている。 ・デイホームの延べ利用人数については、感染症拡大防止のため、会場の貸館休止期間があったことから、利用人数が伸びていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「デイホーム」を実施する。 ・フレイル予防のため、高齢者の通いの場で健康教育及び健康相談を実施する。 ・「ふれあいいいきききサロン事業」の円滑な事業運営のために事業費を補助し、活動を支援する。

事業名【担当課】	事業概要	
在宅生活支援事業【福祉課】	通院等支援サービス事業、介護手当、高齢者住宅整備事業補助金	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り、介護者の精神的・経済的負担を軽減するため、各種事業を実施した。 ・通院等支援サービス券交付 293人 ・介護手当支給 340人 ・高齢者住宅整備事業補助金 4件 	<ul style="list-style-type: none"> 介護者の精神的・経済的負担の軽減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙や介護支援専門員会議、地域包括ケア会議などを通じて各種在宅生活支援サービスを周知し、必要なサービスを提供する。 ・引き続き、介護保険証の発送時(新規・更新)に「高齢者福祉サービス一覧」を同封し、各種在宅生活支援サービスの周知を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
活動支援事業【福祉課】	老人クラブ活動への補助、敬老会への補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会参加活動や健康づくり事業など、各種活動費に補助を行った(市内69の単位老人クラブと市老人クラブ連合会に補助)。 ・高齢者を敬い、地域とのつながりや高齢者が集う場所の確保を目的として各町内会等が開催する敬老会に補助を行った(市内66会場、6,795人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足もあり、年々単位老人クラブ数が減少している。 ・高齢化に伴い、敬老会対象者(75歳以上)が増加している中で敬老会運営側も高齢化している。また、新型コロナウイルス感染症の流行により開催できない町内が多数ある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きがいづくりや仲間づくり、健康づくりなどの活動を通じて、地域貢献など多様な社会活動への参加を促すため、事業費を補助し、活動を支援する。 ・敬老会開催の課題を踏まえ、補助金交付条件を改定し、町内等の実態に合わせて開催方法を選択できるようにする。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支援事業(包括的支援事業)【福祉課】	地域包括支援センターの運営、認知症施策の推進、生活支援体制整備事業(地域支え合い事業)	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの運営と認知症施策を推進した(相談延件数:2,624件 相談実人数:670人)。 ・認知症支援ガイド(ケアパス)の作成や出前講座、認知症カフェ、認知症予防と介護の市民講座、徘徊模擬訓練などを開催し、認知症の対応や理解促進を図った。 ・各地域における支え合い組織を一覧にした「地域支え合いマップ」を更新し、普及啓発に努めた。 ・第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、千谷川町内における支え合い組織の立ち上げを支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが市民の身近な相談拠点となるよう、広く周知を行っている。 ・団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、介護や支援が必要になっても支え合いや助け合いにより地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステム体制の構築を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターでは高齢者の困りごとに関する総合相談業務や関係機関との支援ネットワークづくり業務を担い、高齢者本人やその家族を支援する。 ・認知症支援ガイド(ケアパス)の作成や、出前講座、認知症カフェ、認知症予防と介護の市民講座、徘徊模擬訓練などを開催し、認知症の対応や理解促進を図る。 ・地域に不足している生活支援の手助けを行う第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、生活支援体制の充実を図る。 ・城川地区を重点的に地域支え合い事業の促進を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支援事業(任意事業)【福祉課】	高齢者見守り相談サービス事業、成年後見制度利用支援事業	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送り続けられるよう、各種事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り相談サービス利用 109台(3月末時点設置数) ・成年後見制度市長申立件数 1件 ・成年後見制度利用支援事業(補助金) 2件 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた住宅で安心して生活を送ることができている。 ・身寄りのないひとり暮らし高齢者が増加傾向にあり、成年後見制度の利用が増加していくことが予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り相談サービス事業については、民生委員・児童委員がひとり暮らしの高齢者宅に訪問する機会を活用して普及啓発を行う。 ・成年後見制度利用支援事業については、庁内関係課等で構成する成年後見制度利用支援ネットワーク連絡会を活用し、権利擁護が必要な高齢者の制度利用につなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	21
総合計画ページ		P.56	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	1	商業の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業の活性化支援 ■ 起業や開業に対する支援 ■ 小千谷産品の開発やブラッシュアップに対する支援 ■ 市場開拓と販路拡大に対する支援 ■ ふるさと納税制度の活用による小千谷産品の販路拡大

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
相談件数(起業や開業)	件/年	10	14	21	10	210.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(起業や開業)	件	5	4	9	20	45.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(商品開発や品質向上など)	件	4	5	9	12	75.0	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	15	106.7	商工振興課
ふるさと納税リピーター数	人	4,187	8,408	10,674	6,000	177.9	企画政策課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援 <p>創業塾(商工会議所主催:参加者6名、前年度6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小千谷産品の開発・ブラッシュアップ支援 <p>ブラッシュアップ相談会:2回開催(1回目:2事業所、2回目:4事業所)</p>
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
商店街空き店舗活用支援事業 【商工振興課】	商店街の空き店舗を活用した起業や開業における初期投資に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:0件	商店街の空き店舗状況を把握できていないため、創業希望者へ空き店舗の情報を提供できていない。	商店街店舗活用状況調査事業を推進し、効率的な周知を通じて、空き店舗活用の開業件数増加を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
商店街にぎわいづくり支援事業 【商工振興課】	商店街振興組合などが実施するにぎわいを創出する事業や新たな顧客を獲得するための活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:2件 ・東大通商店街 ・平成商店街	多くの商店街が本事業を活用し、にぎわいの創出へつなげる事業を実施している(H30年度事業開始)。 R1:2件、R2:4件、R3:5件、R4:2件	今後も支援事業を進めていくとともに、商店街等連絡会議などの機会を利用して、各商店街からにぎわいづくり支援に対するニーズを収集する。

事業名【担当課】	事業概要	
開業促進事業【商工振興課】	市内での起業や開業に関する相談や初期投資に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度相談支援件数:21件 R4年度初期投資支援件数:5件 起業スクール:1回開催(参加者18名)	創業塾を年2回開催にするなど、市内創業への支援を推進したことで、相談から創業や開業につながる実績を残すことができた。引き続き、相談から創業や開業まで連携した支援が必要である。	引き続き、創業に関する支援や情報を展開し、創業意欲の醸成を図る。また、現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
地場産品開発支援事業【商工振興課】	小千谷産品の新規開発や品質向上などに対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:4件 ・商品開発:3件(前年度3件) ・商品改良:1件(前年度2件)	申請者が固定化している傾向が見られるため、本支援事業に対する認知度を向上させる取組が必要である。	広報やメルマガでの事例紹介による商品開発促進の機運醸成を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業【商工振興課】	新商品にPRや販路拡大を目的とする国内外の展示会や見本市などへの出展に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:16件 ・海外0件、国内16件 (前年度支援件数:9件)	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けつつも、前年と比べて支援件数が増加している。今後新型コロナウイルス感染症の流行が収束した際には更なる出展増加が見込まれるため、引き続き支援が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報発信を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ふるさと納税推進事業【企画政策課】	ふるさと納税制度の返礼品の充実拡充による小千谷産品のPRと販路拡大に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・R4年度ふるさと納税実績 件数:14,655件 納税額:492,239千円 ・寄附拡大に向けて若手職員によるタスクフォースでの施策検討及びマーケティング調査を実施した。	リピーター数は年々増加しているため、リピーター増加に向けた取組に加えて、新規納税者を増やすための取組が必要である。	タスクフォースで検討した取組を実施するほか、マーケティング調査の結果を基にした戦略的なPRを実施する。

※タスクフォース…緊急性の高い課題を解決するため、一時的に編成される組織、チーム。

※マーケティング調査…効果的な施策が実施できるように市場、消費者等のデータを収集・分析するもの。

事業名【担当課】	事業概要	
制度融資事業【商工振興課】	中小企業の経営安定、設備投資などによる経営基盤の強化に対する融資	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
市制度融資貸付状況(R5年3月末時点): 36件 新型コロナウイルス感染症関連保証認定 件数 ・セーフティネット保証:41件 ・危機関連保証:0件	・円滑な融資支援事業に伴い、中小企業における経営安定及び経営基盤の強化が図られたものであり、引き続き支援が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症流行に伴う融資実行については落ち着きが見え、減少傾向にある。	現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	22
総合計画ページ	P.56		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	2	基幹産業の強化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術継承のための人材育成 ■ 新技術開発と経営基盤の強化 ■ 販路開拓や拡大に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
「テクノ小千谷名匠塾」受講生の技能検定合格者数 (平成21年度以降の累計)	人	172	192	202	230	87.8	商工振興課
補助制度利用累計件数(産学金官の連携によるもの)	件	5	2	3	16	18.8	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	15	106.7	商工振興課

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
テクノ小千谷名匠塾支援事業【商工振興課】	高い熟練技術の継承を目的とした人材育成を行うテクノ小千谷名匠塾の活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
技能検定合格者数:10名(前年度:20名) (名匠塾における累計合格者数:206名)	名匠塾の受講者から例年多くの技能検定合格者を輩出しており、高い技術力の継承が進められている。 R1:9名、R2:0名、R3:20名、R4:10名	市内企業が持つ技術の継承と人材育成にとって重要な取組であることから、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり未来創造チャレンジ支援事業【商工振興課】	企業と高等教育機関などが連携して行う研究開発(経済産業省、中小企業庁採択事業)に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:0件 (前年度支援件数:2件)	R4年度において研究開発に対する補助制度の利用はなかった。 R2:3件、R3:2件、R4:0件	市内企業と大学や研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり研究・開発支援事業【商工振興課】	企業と高等教育機関などが連携して新技術研究に取り組み製品開発を進める事業に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:1件(前年度:2件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られている(R元年度より支援)。 R2:2件、R3:2件、R4:1件	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
産学官連携推進事業【商工振興課】	コーディネータの配置による産学官のマッチングとネットワーク構築支援、産学官官の交流と連携を創出するための研究会の開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度企業訪問件数:49件(前年度:54件) ・セミナー開催:5回(対面2回、オンライン3回)	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっている。	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっていることから、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業(再掲)【商工振興課】	新技術、新製品のPRや販路拡大を目的とする国内外の展示会や見本市などへの出展に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:16件 ・海外0件、国内16件 (前年度支援件数:9件)	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けつつも、前年と比べて支援件数が増加している。今後新型コロナウイルス感染症の流行が収束した際には更なる出展増加が見込まれるため、引き続き支援が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
制度融資事業(再掲)【商工振興課】	中小企業の経営安定、設備投資などによる経営基盤の強化に対する融資	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
市制度融資貸付状況(R5年3月末時点): 36件 新型コロナウイルス感染症関連保証認定件数 ・セーフティネット保証:41件 ・危機関連保証:0件	・円滑な融資支援事業に伴い、中小企業における経営安定及び経営基盤の強化が図られたものであり、引き続き支援が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症流行に伴う融資実行については落ち着きが見え、減少傾向にある。	現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	23
総合計画ページ	P.61		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	1	商工業の振興
施策	3	企業立地の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地用地などの確保 ■ 企業立地の促進 ■ 新たな労働形態への対応

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R3/R7)	担当課
産業団地造成箇所(累計)	か所	1	1	1	2	50.0	商工振興課
産業団地への誘致件数(累計)	件	2	2	2	3	66.7	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

テレワークステーションおぢや内へのサテライトオフィス進出:2件

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
新産業団地造成事業【商工振興課】	新たな産業団地の計画、造成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
民間開発を促進するための施策整備を進めた(補助金交付要綱案の検討等)。	ニーズに沿った整備や事業リスクの低減を図るため、企業訪問等によるニーズの把握や民間活力の活用検討を更に進める必要がある。	市内外の企業における立地動向の情報把握や民間開発を促進するための施策整備を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
企業立地促進事業【商工振興課】	固定資産税の課税免除、用地取得と就業者雇用に対する補助金交付、空き工場などの情報提供	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
固定資産税課税免除:4件	支援策を活用する事業者が限られており、プッシュ型の周知が必要である。	企業の設備投資情報把握に努め、適切な支援を実施していくとともに、プッシュ型の支援制度周知により設備投資を促進する。

事業名【担当課】	事業概要	
テレワーク環境整備事業【商工振興課】	新たな働き方に対応する受入環境の調査、検討、情報発信など	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
テレワークステーションおぢや供用開始 利用者数:1,059名	市民への周知が不足しており、限られた方の利用に留まっているため、更なる周知が必要である。また、新たな働き方に対応する受入環境の調査を兼ねて、定期的なイベント等を実施する必要がある。	テレワークステーションおぢやについて、ホームページ等を活用した情報発信を行い、利用を促進する。イベント等を通じて、新たな働き方の発信や受入環境の調査を進める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	24
総合計画ページ		P.63	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	1	担い手の育成と経営の安定
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな担い手の育成 ■ 地域における営農体制の構築 ■ 地域特性を活かした複合化・多角化経営の推進 ■ 農畜産物の高付加価値化の推進 ■ 多様な農産物生産と加工、販売の強化 ■ 農業機械導入に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ スマート農業の推進 ■ 環境保全型農業の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
担い手などの農地利用集積面積	ha	1,723	1,855	1,989	2,100	94.7	農林課
重点園芸作物の栽培面積	ha	35.6	35.1	33.9	40.0	84.8	農林課
重点園芸作物の栽培者数	人	112	102	101	120	84.2	農林課
スマート農業の累計取組件数(本市の補助事業を活用したもの)	件	2	21	24	13	184.6	農林課

※重点園芸作物: カリフラワー、メロン、すいか、にんじん、ささげ豆、さといも、花卉(かき)、養液トマト

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
担い手育成総合支援事業【農林課】	農業経営に関する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
農業経営に必要な研修会や個別相談会を農業者に周知案内し、参加を後押しした。	多くの研修機会等が設けられており、農業経営に必要な知識等が習得できる環境が整っている。	引き続き、農業者へ研修機会の周知案内を行い、農業経営に必要な知識等の習得を支援する。
事業名【担当課】	事業概要	
農業次世代人材投資資金事業【農林課】	新規就農者に対する助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
一定要件を満たした認定新規就農者2名に対して経営支援及び資金交付を行った。	認定新規就農者に対する経営支援として就農後の定着を図っている。	関係機関及び関係団体と連携して積極的に就農相談を受け付け、事業要件を満たす対象者には資金事業を活用し、次世代を担う農業者を育成する。

事業名【担当課】	事業概要	
農地中間管理事業、機構集積協力金交付金事業【農林課】	農地中間管理機構と連携した農地の集積、集約に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
機構集積協力金の支援実績がなかった。	機構集積協力金のうち、これまで支援実績のあった経営転換協力金の交付要件が厳しくなったため、対象者がいなかった。	継続して農地中間管理事業の周知を図り、農地の集積や集約を推進し、支援につなげる。
事業名【担当課】	事業概要	
米政策支援事業【農林課】	経営所得安定対策、新たな米政策などに対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
農業者の経営所得安定のために、小千谷市農業再生協議会を通じて、農業者の取組に対する支援を行った。	全国で主食用米の在庫過多の状況が続いており、地域においても需要に応じた米生産が求められていることから、継続した支援が必要である。	引き続き、全国的な主食用米の在庫過多の状況に対応した支援が必要となっている一方で、今後の米の市場動向等を注視し、地域にとって必要な施策を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
農林水産業総合振興事業【農林課】	農業生産機械、施設などに対する整備支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
3つの経営体に対して生産機械の導入支援を行った(田植機1台・コンバイン2台)。	国や県の補助要件を満たすことができない農業者からの相談案件が多い。	補助要件を満たし、中心的な地域の担い手が事業活用できるよう、支援を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
農業経営基盤強化支援利子助成補助金【農林課】	農地の取得や農業機械の購入に対する利子助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
農業経営改善計画の達成に必要な長期投資の利子助成を8件行った。	長期投資が必要となる農業者の負担軽減が図られている。	長期投資が必要となる農業者の負担軽減のために事業を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
環境保全型農業直接支払交付金事業【農林課】	有機農業や堆肥を利用した土づくりなど環境保全型の営農活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
1団体の環境保全型農業の取組に対して助成を行い、25人の農業者が活動した。	補助要件である研修への参加、計画書及び実績(証明)書類作成等に負担がかかり過ぎ、申請者数は伸び悩んでいる。	引き続き、環境保全型農業に取り組む農業者に対して支援を行いつつ、環境に配慮した農業の意義等を周知する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	25
総合計画ページ		P.66	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	2	農業生産基盤整備の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ ほ場の整備促進 ■ 農業用施設の機能回復支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
水田の区画整理整備率(30a以上)	%	59.4	60.9	60.9	61.0	99.8%	農林課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ほ場整備事業【農林課】	県営ほ場整備事業に対する負担金	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
上片貝や若栃、山本、塩殿、前島宮島、芋坂時之島、真人北部若栃において県営事業が実施された。	ほ場整備計画地区は複数あるが、事業要件等により事業化できない地区がある。	県営事業以外による事業実施を検討しながら、支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
基盤整備促進事業【農林課】	水利施設整備に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷土地改良区の揚水機場ポンプ整備補修や小千谷西南土地改良区の揚水機場ポンプ及び電気設備更新に対して補助金を交付した。	老朽化による施設の設備更新が増加しており、今後も継続して事業者からの要望が見込まれる。	引き続き、国庫補助事業に対して上乗せ助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
土地改良施設維持管理適正化事業【農林課】	農業用施設の機能回復や整備などに対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
小千谷土地改良区や信濃川左岸土地改良区が実施する土地改良施設維持管理適正化事業に対して補助金を交付した。	老朽化による施設の設備更新が増加しており、今後も継続して事業者からの要望が見込まれる。	引き続き、新潟県土地改良事業団体連合会の適正化事業の採択を受けた事業に対して助成を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
多面的機能支払交付金事業【農林課】	農業用施設の長寿命化の推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
1広域協定、4組織の農業用施設長寿命化の活動に対して補助金を交付した(取組面積1,428ha)。	取組面積の拡大を図っているが、市内の多くのエリアで取組が進んでおり、増加率は鈍化している。	県営ほ場整備実施済の地区が当該事業を活用することが多いため、そのような地区に対して働きかけを行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	26
総合計画ページ		P.67	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	3	農村の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 農村の多面的機能の維持と活用 ■ 中山間地域の農業の維持 ■ 農用地利用計画の見直し ■ 農村の環境整備にかかわる人材の確保

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
農地維持活動面積	ha	1,953	2,045	2,057	2,050	100.3	農林課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要		
多面的機能支払交付金事業(再掲) 【農林課】	農地を維持するための共同活動の推進		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)	
1広域協定、4組織の農業用施設長寿命化の活動に対して補助金を交付した(取組面積1,428ha)。	取組面積の拡大を図っているが、市内の多くのエリアで取組が進んでおり、増加率は鈍化している。	当該事業を活用することの多い県営ほ場整備実施済の地区に対して働きかけを行う。	
事業名【担当課】	事業概要		
中山間地域等直接支払事業 【農林課】	耕作放棄地の増加抑制や人材確保のための活動に対する補助		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)	
6広域集落協定、5集落協定の農業生産活動に対して補助金を交付した(取組面積1,147ha)。	取組面積は年々拡大してきており、新規の事業活用を検討している地区もある。	新規の事業活用を検討している地区に対して、引き続き情報提供などの支援を行う。	

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	27
総合計画ページ	P.69		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	2	農林業の振興
施策	4	森林の維持
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 森林の維持、保全 ■ 特用林産物の生産体制の確立 ■ 緑化推進活動に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
森林整備意向調査実施面積	ha	0	13.6	13.6	100.0	13.6	農林課
緑化活動団体	団体	4	9	3	5	60.0	農林課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
治山事業【農林課】	荒廃地の復旧や災害予防、保全対象地の保護	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
真人町で部分植栽と下刈りが実施された。	治山施設の老朽化が進んでおり、修繕等の必要箇所が増加傾向にある。	引き続き、危険箇所や施設の破損等の情報を速やかに県に報告し、事業化につなげる。

事業名【担当課】	事業概要	
森林整備地域活動支援事業【農林課】	適切な森林整備活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
実施なし	間伐の取組は、減少傾向にある。	民間の森林整備活動に対する支援のあり方について検討を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
特用林産物生産支援事業【農林課】	きのこ生産事業の品質向上と低コスト化を推進する事業に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
実施なし	H28年度に低コスト化の施設整備に対する支援を行っており、生産者の要望を毎年確認している。	引き続き、生産者に対して情報提供を行い、支援の実施につなげる。

事業名【担当課】	事業概要	
緑化運動推進事業【農林課】	公益社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会などが行う緑化推進活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
3団体が植樹を実施した。また、13団体の樹木維持管理に対して資材費に対する支援を行った。	全町内会に植樹等要望調査を実施した結果、実施団体が増加傾向にある。	全町内への要望調査を継続し、支援の実施につなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	28
総合計画ページ		P.71	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	1	独創性・創造性豊かな産業の育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 伝統産業のPR ■ 複合経営型アグリビジネスの構築促進 ■ 起業、第二創業に対する支援 ■ 産学金官の連携

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
アグリビジネス新規開発品目数	団体	14	16	16	19	84.2	農林課
相談件数(起業や開業)	件/年	10	14	21	10	210.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(起業や開業)	件	5	4	9	20	45.0	商工振興課
補助制度利用累計件数(産学金官の連携によるもの)	件	5	2	3	16	18.8	商工振興課
補助制度利用件数(展示会などへの出展)	件/年	10	9	16	15	106.7	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援 <p>創業塾(商工会議所主催:参加者6名、前年度6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小千谷産品の開発・ブラッシュアップ支援 <p>ブラッシュアップ相談会:2回開催(1回目:2事業所、2回目:4事業所)</p>
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
伝統産業振興支援【商工振興課】	伝統工芸団体への運営、事業に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度における支援件数は4件(前年度支援件数:4件) ・織物同業協同組合 ・仏壇振興事業 ・地場産業振興事業 ・伝統的工芸品月間事業	引き続き、伝統産業の振興に係る相談や支援の継続が必要である。	引き続き、補助金等による伝統産業の振興に係る相談や支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
アグリビジネス育成支援事業【農林課】	地域資源を活用したアグリビジネスの商品開発や販路開拓に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
アグリビジネス創出の可能性を持つ農業関係団体等に対して国県事業等の情報提供を行った。また、農作物加工調理室の無償貸出を行った。	農家の女性団体が行う小規模な取組や、法人等団体組織で行う意欲的な取組を後押しするために有効である。	農業者の法人化等の支援や農産物加工のできる農業管理センターの調理実習室の利用促進によりアグリビジネス創出の可能性を高める。

事業名【担当課】	事業概要	
起業・開業支援事業(再掲) 【商工振興課】	市内での起業や開業に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度相談支援件数:21件 R4年度初期投資支援件数:5件 起業スクール:1回開催(参加者18名)	創業塾を年2回開催にするなど市内創業への支援を推進したことで、相談から創業や開業につながる実績を残すことができた。引き続き、相談から創業や開業まで連携した支援が必要である。	引き続き創業に関する支援や情報を展開し、創業意欲の醸成を図る。また、現在市での創業融資がないことから、他自治体の創業融資について情報収集し、制度研究を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり未来創造チャレンジ事業(再掲) 【商工振興課】	企業と学術機関が連携して行う研究開発(経済産業省、中小企業庁採択事業)に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:0件 (前年度支援件数:2件)	R4年度において研究開発に対する補助制度の利用はなかった。 R2:3件、R3:2件、R4:0件	市内企業と大学や研究機関等との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
ものづくり研究・開発支援事業(再掲) 【商工振興課】	起業や経営体と学術機関が連携して行う新技術の研究と製品開発に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:1件(前年度:2件)	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進が図られている(R元年度より支援)。 R2:2件、R3:2件、R4:1件	市内企業と研究機関との連携による新技術の研究及び製品開発の促進を図るものであり、引き続き支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
産学官連携推進事業(再掲) 【商工振興課】	コーディネータの配置による産学官のマッチングとネットワーク構築支援、産学金官の交流と連携を創出するための研究会の開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度企業訪問件数:49件(前年度:54件) ・セミナー開催:5回(対面2回、オンライン3回)	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっている。	産学官連携推進員による企業と高等教育機関等とのマッチングやネットワークの構築により、多くの研究開発等の取組につながっていることから、引き続き支援を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
国内・海外販路開拓支援事業(再掲) 【商工振興課】	新技術、新製品のPR、販路拡大を目的とする国内外の展示会、見本市などへの出展要請	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:16件 ・海外0件、国内16件 (前年度支援件数:9件)	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けつつも、前年と比べて支援件数が増加している。今後新型コロナウイルス感染症の流行が収束した際には更なる出展増加が見込まれるため、引き続き支援が必要である。	支援件数の増加を図るため、メルマガや広報での情報展開を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	29
総合計画ページ		P.73	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	3	地域特性を活かした産業の育成
施策	2	錦鯉産業の振興
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 市の魚「錦鯉」のPR ■ 販路拡大に対する支援 ■ 鯉ヘルペスウイルス(KHV)病への対策強化 ■ 経営基盤の強化 ■ 教育や観光との連携

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R4/R7))	担当課
市内錦鯉海外輸出国数	ヶ国	22	20	21	26	80.8	農林課
市内錦鯉海外輸出件数	件	228	227	212	250	84.8	農林課
市内錦鯉海外輸出尾数	尾	215,484	390,724	312,096	570,000	54.8	農林課
市内錦鯉海外輸出金額	千円	509,400	804,000	723,718	700,000	103.4	農林課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

栃木県日光市の日光東照宮において小千谷青年会議所による錦鯉の追加放流(奉納)を行い、県外でのPR活動を行った(錦鯉は小千谷市錦鯉漁業協同組合から小千谷市青年会議所へ寄付)。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
市の魚「錦鯉」PR事業【農林課】	小千谷市錦鯉漁業協同組合が行う広報宣伝事業に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年11月に開催された世界錦鯉サミット及び駐日外交団地方視察ツアーにおいて錦鯉発祥の地「小千谷」の錦鯉をPRするため、錦鯉放流事業を実施し、つながりを構築した。	引き続き、販路拡大に向けた取組が必要である。	G7サミット新潟財務大臣・中央銀行総裁会議において錦鯉を展示し、錦鯉発祥の地をPRする。

事業名【担当課】	事業概要	
東京駅前常盤橋プロジェクト錦鯉PR事業【農林課】	東京駅前常盤橋プロジェクト広場に設置される錦鯉鑑賞池を活用した錦鯉のPR	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
大江戸錦鯉まつりや1周年まつりなど8件のイベントにおいて錦鯉水槽を展示し、錦鯉のPR活動を行った。	R4年9月から隣接するB棟(TORCHタワー)建設地の既存ビル解体工事が着工している。建設期間も含めて、R9年度まではPRの仕方に工夫が必要である。	三菱地所㈱が運営するSNSと連携し、錦鯉の学びの機会の創出に併せて特産品や観光情報を提供し、錦鯉発祥の地「小千谷市」をPRする。

事業名【担当課】	事業概要	
養殖錦鯉魚病検査対策事業【農林課】	KHV病の検査費用に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
R4年度検査数 【輸出】前期35件、後期33件 【国内】前期15件、後期18件	KHV病への対策強化、まん延防止により、魚病対策への信頼性を保ち、出荷販売促進が図られている。	KHV病のまん延防止により、錦鯉の出荷や販売促進が図られることから、継続して実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
経営基盤強化事業【農林課】	品評会の開催や販路開拓や拡大事業に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・錦鯉養殖業経営を法人化する組合員に対して経費の一部を支援した。 ・R4年12月に国の輸出重点品目に「錦鯉」が追加された。 	R5年3月31日に全日本錦鯉振興会が国の農林水産物・食品輸出促進団体(品目団体)に認定され、輸出拡大が期待される。	農地を一時転用する手続を支援し、養鯉池を拡大し、生産量を増加させることにより販路拡大や輸出促進を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	30
総合計画ページ		P.75	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	1	就業支援の強化と人材育成
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 若者の就業機会の確保 ■ U・Iターンに対する支援 ■ キャリア教育に対する支援 ■ 中小企業における人材育成 ■ 再就職希望者に対する支援 ■ 就労支援情報の発信

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
新規就農者数(累計)	人	12	21	25	30	83.3	農林課
学生(高校生～大学生)の市内就職者数	人/年	調査なし	107	159	40	397.5	商工振興課
インターンシップ参加者の市内就職者数(累計)	人	調査なし	32	40	30	133.3	商工振興課
15歳～29歳の転入者数	人/年	292	280	355	300	118.3	商工振興課
中小企業人材育成研修支援事業の対象者数	人/年	32	19	37	35	105.7	商工振興課
「テクノ小千谷名匠塾」受講生の技能検定合格者数(H21年度以降の累計)	人	172	192	202	230	87.8	商工振興課
シルバー人材センター会員数	人	389	378	382	407	93.9	福祉課
障がい者の一般就労への移行者数	人/年	2	0	3	5	60.0	福祉課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【商工振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡地域若者サポートステーションにおける若者の相談件数:25件(うち新規9件) ・千葉商科大学との就労連携に関する協定締結(学生の就労支援)

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
「おぢや・夢・ミライ応援団」による就労支援事業【商工振興課】	産学官の連携により、若者の地元就労を促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・おぢやしごと未来塾開催:1回 ・インターンシップ受入調査:市内企業202社 ・インターンシップ受入仲介:1名 	インターンシップの受入仲介が伸び悩んでいるため、対応が必要である。	市内企業PVなど、市内就職サイトへの誘導が不足しているため、広告代理店等と連携し、効果的な改善策を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
「小千谷未来パスポート」によるU・Iターン促進事業【商工振興課】	首都圏などの高等教育機関との連携により、若者のU・Iターン就労を促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
・長岡定住自立圏事業:3回 (インターンシップガイダンス・就職ガイダンス・高校生のための企業フェス) ・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金申込:1件	・長岡定住自立圏事業と連携することで、広域的な就職ガイダンスが実施できた。 ・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金のチラシ等を整備し、周知を強化した。	U・Iターン学生就職活動支援事業補助金の認知度向上のため、ガイドブックやSNS、ホームページの周知を図るとともに、オンライン申請の申込フォームを整備する。
事業名【担当課】	事業概要	
キャリア教育推進事業【商工振興課】	小学生から高校生までを対象とした企業見学、職場体験などに対する支援と企業ガイドブックの配布	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
・企業見学バスツアー開催:2回 ・企業ガイドブックの刷新 ・就労支援アプリから就職支援SNSアカウントの開設(インスタグラム) ・就職支援サイトの開設 ・学生のものづくり活動支援 ・企業見学(市内中学校5校):新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、実施できなかった。	各世代の学生に対し、市内企業ガイドブックの配布やバスツアー開催などを実施したことでキャリア教育の推進が図られている。就労支援アプリの代替事業として①企業ガイドブック、②SNS、③就職支援サイトを用いた市内企業の認知向上が図られている。	SNSや就職支援サイトを開設したことから、本情報媒体の認知度向上を図るため、オンラインとオフラインで並行した広告戦略を委託業者と連携して検討する。
事業名【担当課】	事業概要	
農業次世代人材投資資金事業(再掲) 【農林課】	新規就農者に経営に対する助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
一定要件を満たした認定新規就農者2名に対して経営支援及び資金交付を行った。	認定新規就農者に対する経営支援として就農後の定着を図っている。	関係機関及び関係団体と連携して積極的に就農相談を受け付け、事業要件を満たす対象者には資金事業を活用し、次世代を担う農業者を育成する。
事業名【担当課】	事業概要	
中小企業研修支援事業【商工振興課】	中小企業大学校三条校、公益財団法人にいがた産業創造機構(NICO)が実施する研修の受講に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
研修受講者数:37名(R3年度:19名)	補助対象となる研修にオンライン受講が加わったことにより、受講状況が新型コロナウイルス感染症の流行前の水準に回復した。 ※H30年度の受講状況:34件	市内企業の研修補助による人的資源の強化を図るものであり、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
テクノ小千谷名匠塾支援事業(再掲) 【商工振興課】	高い熟練技術の継承と人材育成に取り組むテクノ小千谷名匠塾の活動に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
技能検定合格者数:10名(前年度:20名) (名匠塾における累計合格者数:206名)	名匠塾の受講者から例年多くの技能検定合格者を輩出しており、高い技術力の継承が進められている。 R1:9名、R2:0名、R3:20名、R4:10名	市内企業が持つ技術の継承と人材育成にとって重要な取組であることから、引き続き支援を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
長岡地域若者サポートステーション【商工振興課】	若者の就業による自立を目的とした「地域若者サポートステーション事業」の広報協力及び小千谷サテライト(出張相談)の開設協力	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
・小千谷サテライトの実施:12回(月1回) ・市ホームページ及び広報おぢやへの掲載	小千谷サテライトでの相談から進路(就職含む)決定につながる実績があった。	相談者の進路(就職含む)決定という実績も出ていることから、引き続き支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
国際交流環境整備事業【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	外国語による生活情報の提供、外国語パンフレットの配布、外国人のための日本語教室の開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
・市内在住外国人の生活に必要な情報提供などの事業を実施した。 ・日本語教室の中で夏季に市内高校生と陶芸体験を行ったことで、市民との交流を通してより実践的な日本語学習を深めることができた。	日本語学習を必要とする外国人に対して教室の存在が十分に周知されていない。	他課と連携し、日本語学習を必要とする外国人の情報収集を徹底し、事業の周知を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
障害者自立支援給付事業(再掲)【福祉課】	就労移行支援、就労継続支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
障がいのある方に対して就労に必要な知識の習得や能力向上のために必要な訓練を行った。 【実績】※実利用者数 ・就労移行支援 12人 ・就労継続支援 A型 8人、B型 124人	障がいのある方の就業機会の確保と企業における障がいに対する理解の促進を図る必要がある。	市内の相談支援事業所や企業、総合支援学校と連携した情報発信等により、障がい者雇用の理解と推進を図り、実習先や就業機会の確保に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	31
総合計画ページ	P.78		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	3	創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)
基本方針	4	就業機会の確保
施策	2	労働環境の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革の推進 ■ ワーク・ライフ・バランスの推進 ■ 勤労青少年の活動支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
労働環境の整備に関する情報提供のための企業訪問数	件/年	24	22	24	25	96.0	商工振興課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
労働環境の整備に関する情報の提供【商工振興課】	働き方改革やワーク・ライフ・バランスなど労働環境の整備に関する情報提供や労働相談窓口などの紹介	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランス広報 (ホームページ及び広報おぢやへの掲載) ・企業訪問件数:24件 	ホームページや広報誌への掲載だけでなく、企業訪問による周知強化を図っている。 企業訪問周知件数(H30:15件、R1:24件、R2:26件、R3:22件、R4:24件)	引き続き、企業訪問による周知強化に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
勤労青少年の自己啓発活動支援事業(再掲)【文化スポーツ課】	首都圏などの高等教育機関との連携により、若者のU・Iターン就労を促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
講座や教室を延べ92回開催した。	事業参加者の固定化が進んでいるため、新規参加者を増加させる取組が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した広報周知を行い、新規利用者の獲得を図る。 ・クラブ活動など、利用者の自主的な活動支援を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	32
総合計画ページ	P. 80		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	1	中心市街地の活性化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 小千谷市立地適性化計画の推進 ■ 市街地の都市機能整備 ■ 中心市街地への居住誘導 ■ 商業の活性化支援(再掲)

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
居住誘導区域の人口集積率※	%	56.9	57.3	58.0	58.2	99.7	建設課

※全人口に占める居住誘導区域の人口割合

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
立地適正化計画の推進【建設課】	立地適正化計画に基づく居住や都市機能の誘導方針による推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・居住誘導区域の人口集積率 58.0% ・都市機能:図書館複合施設(R6年度供用開始予定)建設工事着手 ・居住:宅地開発支援補助金交付決定 2件 	図書館複合施設整備による都市機能の誘導や宅地開発支援による居住の誘導に向けた取組を実施している。	関連する計画に位置付けられた施策などを着実に実行し、居住及び都市機能の誘導を促進する。

事業名【担当課】	事業概要	
都市機能集約事業【建設課】	西小千谷地区:旧小千谷総合病院跡地整備事業(図書館等複合施設整備事業)、東小千谷地区:防災拠点施設等整備事業((仮称)小千谷市防災センター整備事業)	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等複合施設の実施設計が終了し、建設工事に着手した。 ・(仮称)小千谷市防災センター整備事業については、住民説明会及びパブリックコメントを実施した。また、設計競技に向けて審査委員会を立上げ、仕様書及び実施要領の素案を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等複合施設整備事業では施設オープン後の運営を見据えて、人と人をつなぎ、共創する場としてリビングラボを継続実施しながら、施設整備を進めている。 ・(仮称)小千谷市防災センター整備事業については、緊急防災・減災事業債の適用事業期間がR7年度までとなり、R5年度中に実施設計を完了する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館等複合施設整備事業では引き続き、リビングラボを土台として、官民連携で生まれる様々な可能性を考えて行動し、まちに活気を生み出す拠点づくりを行う。 ・(仮称)小千谷市防災センター整備事業については、設計競技により設計案を選定し、基本設計及び実施設計を作成するなど、工事着手に向けた準備を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
住宅取得支援事業【建設課】	住宅取得に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金申請件数 96件(全て子育て世代) ・新築住宅 75件(うち転入14件) ・建売住宅 4件(うち転入0件) ・中古住宅 17件(うち転入5件)	申請者数は堅調に推移している。 年度後半に中古住宅購入が増える傾向にあり、特に中古住宅購入者への周知が必要である。	対象者へ確実に情報が届くよう、広報紙やホームページ、SNS等を活用し、制度の周知徹底を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業【建設課】	宅地の整備に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・補助金交付決定数 2件 ・整備済み区画数 23件 ・造成中区画数(※R4→R5繰越事業)12区画 ・2,000㎡に満たない小規模開発の需要があったことから、R4年度末に補助金交付要綱の見直しを行い、要件を緩和した。	R3年度に新設した補助金の活用により、優良な宅地供給の目的を達しつつある。 R5年度も本補助金の活用が見込まれている。	補助要件の緩和と補助対象経費の追加に伴い、より使いやすい補助金となったことを引き続きPRする。
事業名【担当課】	事業概要	
商店街にぎわいづくり支援事業(再掲) 【商工振興課】	商店街振興組合などが実施するにぎわいを創出する事業や新たな顧客を獲得するための活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度支援件数:2件 ・東大通商店街 ・平成商店街	多くの商店街が本事業を活用し、にぎわいの創出へつながる事業を実施している(H30年度事業開始)。 R1:2件、R2:4件、R3:5件、R4:2件	今後も支援事業を進めていくとともに、商店街等連絡会議などの機会を利用して、各商店街からにぎわいづくり支援に対するニーズを収集する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	33
総合計画ページ	P.82		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	2	地域公共交通の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バスの運行の維持 ■ 中山間地域における公共交通網の維持 ■ 鉄道の利用促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
市内路線バス運行路線数	路線	10	10	10	10	100.0	にぎわい交流課
コミュニティバス運行路線数	路線	1	1	1	1	100.0	にぎわい交流課
乗合タクシー運行路線数	路線	2	2	2	2	100.0	にぎわい交流課
生活交通(バス・乗合タクシー)運行路線のうち小千谷駅停車路線数	路線	12	12	12	12	100.0	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
生活交通確保対策事業 【にぎわい交流課】	過疎地域路線バス、廃止路線代替バス、循環バスの運行に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
過疎地域路線バスや廃止路線代替バス、 循環バスの運行に対する補助	バス利用者の減少に伴い、事業者より路 線廃止の申出を受け、代替交通の確保が 求められている。	公共交通の利用を促進するとともに、路線 廃止となった場合の代替交通を確保する ため、公共交通事業者や地域と協議を行 う。

事業名【担当課】	事業概要	
コミュニティバス等運行支援事業 【にぎわい交流課】	コミュニティバス、乗合タクシーの運行に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・コミュニティバス、乗合タクシーの運行に 対する補助 ・路線バス塩谷線廃止に伴う乗合タクシー 新規路線開始に向けた調整	代替交通としての乗合タクシー路線維持 が必要である。	地域住民の生活支援のため、代替交通の 運行を継続する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	34
総合計画ページ	P.83		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	1	都市空間の創出
施策	3	居住環境の向上
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 宅地の供給 ■ 公園の整備と適正管理を推進 ■ 公営住宅の適正な戸数確保と長寿命化 ■ 空き家等対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
宅地の整備に対する補助区画数(累計)	区画	-	5	28	30	93.3	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業(再掲)【建設課】	宅地整備に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付決定数 2件 ・整備済み区画数 23件 ・造成中区画数(※R4→R5繰越事業)12区画 ・2,000㎡に満たない小規模開発の需要があったことから、R4年度末に補助金交付要綱の見直しを行い、要件を緩和した。 	R3年度に新設した補助金の活用により、優良な宅地供給の目的を達しつつある。R5年度も本補助金の活用が見込まれている。	補助要件の緩和と補助対象経費の追加に伴い、より使いやすい補助金となったことを引き続きPRする。
都市公園施設整備事業【建設課】	施設の補修、設備の更新	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した樹木の剪定 ・外灯やガラスなどの維持管理修繕 	老朽化した設備や樹木の維持管理、修繕等に多額の費用を要している。また、将来的にトイレのバリアフリー化等の検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理修繕 ・トイレのバリアフリー化等の検討
公営住宅施設設備事業【建設課】	施設の補修、設備の更新	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・自動火災報知設備改修(千谷のぞみ団地住宅、他1住宅) ・火災警報器改修(宮之下団地住宅) ・下原木造住宅(5棟)解体 	高齢者や障がい者が安心して暮らせる住宅の整備と雪国の暮らしに適さない老朽住宅の整理が必要である。	引き続き、老朽化した施設設備の更新を行うとともに、老朽住宅の整理を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
空き家等対策事業【防災安全課】	危険な空き家に関する啓発と適正管理の促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・特定空家1件を行政代執行により除却した。 ・危険空家所有者へ対応を促す文書を送付した。 	<p>今後も空家の増加が予想され、空き家バンクへの登録など、危険な状態になる前の対応を啓発する必要がある。</p>	<p>引き続き、市民への啓発を進めるとともに、特に危険な空家について、応急処置を含めた対応を実施する。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	35
総合計画ページ	P.85		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	1	道路網の整備と維持管理
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 市道・橋りょうなどの整備と維持管理 ■ 国・県道の整備促進 ■ 自動運転技術への対応

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
市道橋点検件数(累計)	橋	167	38	105	179	58.7	建設課
舗装修繕路線率 [※]	区画	45.8	47.9	49.0	50.0	98.0	建設課

※小千谷市道路舗装修繕計画に基づく、修繕を必要とする路線数に占める舗装修繕路線数の割合

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
道路整備事業【建設課】	市道の新設・改良、国・県道の整備を促進するための働きかけ	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
旭町東栄線や山谷吉谷線の道路改良工事、城川7号線の冠水対策工事(ガス・水道・下水道補償工事)に着手した。	円滑な交通と歩行者の安全確保が必要である。また、異常気象に伴う道路側溝の溢水箇所が増加していることなどから、道路整備や排水路の断面確保等の対策が急務である。	R4年度に工事着手した路線の早期完工を目指すとともに、岩野塚山線の調査を行い、引き続き県と連携し、市内のインフラ整備の促進に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
道路舗装修繕事業【建設課】	舗装路面の劣化が著しい市道の点検と修繕	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
西小千谷1号線など、道路修繕計画に基づき劣化や損傷の著しい箇所の舗装修繕を実施した。	町内要望箇所やパトロール巡視等による緊急度などを勘案し、道路修繕計画に基づき修繕を実施している。	引き続き、西小千谷1号線の継続工事をはじめ、道路修繕計画に基づき劣化や損傷の著しい箇所の舗装修繕を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
橋りょう長寿命化修繕事業【建設課】	市道橋の定期的な点検と修繕	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
市管理の橋梁177橋のうち、67橋の点検と無名橋(松栄町元中子線)1橋の修繕を実施した。 ※暗渠化による橋梁廃止(池津橋)	橋梁長寿命化修繕計画に沿って点検と修繕を実施している。	橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕を実施する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	36
総合計画ページ	P.87		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	2	自然と調和し災害に強い河川の整備
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 一級河川の整備促進 ■ 準用河川と普通河川の整備 ■ 水辺の環境美化活動に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
河川整備事業実施箇所(準用河川)	箇所	0	1	2	2	100.0	建設課
河川整備事業実施箇所(普通河川)	箇所	0	0	0	1	0.0	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
一級河川の整備促進(国、県管理河川)【建設課】	信濃川や表沢川などの整備事業の促進、茶郷川の河川整備計画策定の促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
表沢川について、放水路区間が完成し、河道本体の改修が進んだ。茶郷川については、河川整備計画策定に向けて、治水協議会や地権者、県などの関係者と協議を実施した。	表沢川について、R5年度の完工を県に要望していく必要がある。茶郷川については、国や県との協議を継続し、地権者との合意形成に努める必要がある。	表沢川について、R5年度に鉄塔の移設を行い、完工が予定されていることから、県と連絡を密にし情報共有を図る。茶郷川については、国や県との継続協議及び地権者や関係者との合意形成に向けた協議を継続する。
事業名【担当課】	事業概要	
河川整備事業(市管理河川)【建設課】	準用河川と普通河川の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
茶郷川第一放水路水槽部の嵩上工事が完了し、予定していた準用河川の整備は完了した。	R5年度に一級河川表沢川の河川改修が完了予定であり、完了後は上流部の普通河川表沢川の整備が必要となる。	現地の詳細確認を行い、R6年度の着手に向けた準備を進める。
事業名【担当課】	事業概要	
環境美化活動支援事業【建設課】	河川環境の保全や美化活動に自主的に取り組む団体に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
一級河川や準用河川の除草業務を町内等から実施いただいた。また、茶郷川治水協議会を通じて、環境整備協議会の活動を支援した。	河川環境の保全や美化に取り組む団体を増やし、市民に河川環境の保全や美化活動に対する意識の啓発に努める必要がある。	市民に河川環境の保全や美化活動に対する意識の啓発に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	37
総合計画ページ	P.89		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	3	都市ガスの安定供給
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭用燃料電池の導入可能性の検討 ■ 需用家サービスの向上 ■ 震災に強い施設整備の推進と保安対策の徹底 ■ ガス事業の民営化の検討

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
ガス管の耐震化率	%	45.8	46.6	47.4	47.8	99.2	ガス水道局

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ガスの需要拡大【ガス水道局】	PR活動の強化、進出企業への営業などによる需要の拡大	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
チラシによるガス機器販売フェア(特別価格による販売)を小千谷管工事協同組合協力のもと10月から11月にかけて開催した。	人口減少や省エネ機器の普及による都市ガス需要の更なる減少が見込まれることから、営業活動の強化と一層の需要家サービスの向上が課題となっている。	関係部署と情報連携を図り、供給区域への進出企業には即座にニーズに応じたガス供給の提案を進め、ガス未使用の既存企業に対しても需要開発を図る。
需要家サービス向上【ガス水道局】	顧客ニーズの把握と即応体制の強化	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
ガス衣類乾燥機割料金や家庭用コージェネレーションシステム契約により、更なる需要家サービスの向上を図った。	電気やプロパンガスなどの他エネルギーとの競争が激化する中、更なる営業力の強化が課題となっている。	他エネルギーとの競争に加え、人口減少も一層進みガス需要の減少が見込まれることから、顧客のニーズを把握し、消費者目線での需要家サービスの向上を進める。
ガス供給設備整備事業【ガス水道局】	本支管耐震化工事、需要家保安対策(経年内管更新の推進)	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・L=2,328mの本支管耐震化工事を実施した。 ・需要家工事等の工事により、41本の老朽内管を削減した。	本支管耐震化工事や老朽内管の削減による保安対策の更なる推進及び安定した保安体制の計画的な構築が必要となっている。	本支管耐震化工事や老朽内管の削減を計画的に進め、震災などの災害に強い施設整備の推進を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	38
総合計画ページ	P.91		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	4	上水道の安定供給
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 震災に強い施設整備の推進 ■ 安定取水の確保 ■ 資産の適切な管理

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
水道本支管の耐震化率	%	21.3	21.8	22.4	23.4	95.7	ガス水道局

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
上水道施設耐震化事業【ガス水道局】	主要施設の耐震化工事	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
上水道施設の耐震化を進めるため、国の補助金を活用し、取水塔水管橋の耐震化工事設計書を策定した。	安定給水の確保及び震災などの災害に強い施設の維持を図るため、計画的に設備の更新を進める必要がある。	国の補助金を活用し、取水塔水管橋の耐震化工事を行うとともに、安定給水の確保及び震災などの災害に強い施設の維持を図るため、計画的に施設の更新を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
上水道施設整備事業【ガス水道局】	配水管布設、老朽化管路布設替	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
安定供給の確保と保安対策の強化により地震などの災害でも給水を確保するため、L=2,216mの水道管布設替・新設を実施した。	安定給水の確保及び経年管の削減による保安対策の更なる推進を図るため、安定した保安体制の計画的な構築が必要となっている。	安定給水の確保及び老朽管の布設替を計画的に進め、震災などの災害に強い給水施設整備を推進する。

事業名【担当課】	事業概要	
安定取水確保【ガス水道局】	信濃川取水箇所付近の河床調査	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
近年、信濃川の水位が低下していることから、安定取水のため、取水塔廻りの浚渫作業を実施した。	各地点において河床の変動が見られることから、安定取水を確保するため、引き続き監視を進める必要がある。	安定取水を確保するため、引き続き監視を進め、状況に応じて必要な対策を講じる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	39
総合計画ページ	P.92		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	2	快適な生活基盤の整備
施策	5	下水道施設の適正な維持管理
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 下水道施設の適正な維持管理 ■ 水洗化率の向上 ■ 合併処理浄化槽の普及促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
公共下水道事業の水洗化率	%	94.6	95.6	95.9	95.0	100.9	ガス水道局
農業集落排水事業の水洗化率	%	97.4	97.5	97.5	97.5	100.0	ガス水道局
合併処理浄化槽の設置数(累計)	基	332	311	312	348	89.7	環境共生課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
流域下水道事業【ガス水道局】	流域下水道維持管理負担金	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟県流域下水道施設の維持管理費について、当市分を負担した。	近隣自治体との共同処理によりコスト低減を図っている。今後、流域下水道施設の老朽化による更新工事の増加に伴い、負担の増加が懸念される。	県及び近隣自治体と共同処理している流域下水道について、関係機関と連携を図り、より一層のコスト低減に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
公共下水道整備事業【ガス水道局】	汚水管渠補修工事、長寿命化計画による機能強化	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為などにより、下水道管渠の整備が必要となった箇所において下水道管布設工事を実施した。 ・H29年度作成のストックマネジメント計画により点検を実施した。 	事業は概成しているため、大規模な整備事業の計画はないが、施設の維持管理を効率的に計画し、実施していく必要がある。	長寿命化計画に基づき施設の維持管理を効率的に計画し、実施するとともに整備区域内における水洗化率の向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
農業集落排水整備事業【ガス水道局】	汚水管渠補修工事、長寿命化計画による機能強化	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな汚水管の布設及び補修工事は無かった。 ・最適整備構想により処理場の更新工事を計画的に実施した。 	事業は概成しているため、大規模な整備事業の計画はないが、施設の維持管理を効率的に計画し、実施していく必要がある。	長寿命化計画に基づき施設の維持管理を効率的に計画し、実施するとともに整備区域内における水洗化率の向上を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
合併処理浄化槽整備事業【環境共生課】	合併処理浄化槽設置補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
衛生班長会議での説明や広報おぢや掲載などにより合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知を実施し、1基の設置に対して補助金を交付した。	住宅の取り壊しに伴い、合併処理浄化槽を設置する住宅は減少している。	広報等を活用して合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知を継続し、普及促進を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	40
総合計画ページ	P.94		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	1	都市計画の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画マスタープランの見直し ■ 快適に暮らせる宅地の供給促進 ■ 都市計画道路の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
宅地の整備に対する補助区画数(累計)	区画	-	5	28	30	93.3	建設課
都市計画道路の改良率	%	69.1	71.8	71.8	71.3	100.7	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
都市計画マスタープランの中間見直し【建設課】	都市計画基礎調査による都市の現況や都市化の動向などを把握及び社会情勢の変化に対応した見直し	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
都市計画の基礎調査(R5までの2か年)を実施した。	R6年度に予定している都市計画マスタープランの中間見直しに係る基礎的情報の収集をR4～5年度に実施する必要がある。	R4年度と同様の調査を継続して実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
宅地開発支援事業(再掲)【建設課】	宅地の整備に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付決定数 2件 ・整備済み区画数 23件 ・造成中区画数(※R4→R5繰越事業)12区画 ・2,000㎡に満たない小規模開発の需要があったことから、R4年度末に補助金交付要綱の見直しを行い、要件を緩和した。 	R3年度に新設した補助金の活用により、優良な宅地供給の目的を達しつつある。R5年度も本補助金の活用が見込まれている。	補助要件の緩和と補助対象経費の追加に伴い、より使いやすい補助金となったことを引き続きPRする。

事業名【担当課】	事業概要	
都市計画道路整備事業【建設課】	本町小栗田線の整備促進、木津小千谷停車場線などの整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
木津小千谷停車場線について、側溝改良工事L=97.6mを実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・本町小栗田線について、計画区間の整備が完了した(県事業)。 ・木津小千谷停車場線について、事業計画期間を短縮できるペースで進捗している。将来整備する路線の選定が必要である。 	木津小千谷停車場線について、早期完工に向けて事業を継続する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	41
総合計画ページ		P.96	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	4	魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)
基本方針	3	土地利用の推進
施策	2	国土調査の推進
施策の基本方針	■ 計画的かつ効率的な調査の推進	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
地籍調査進捗率	%	26.48	26.69	26.77	27.02	99.1	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査の成果から修正された登記簿と現代の測量技術を用いて作成された公図が、法務局に備え付けられることにより土地境界の保全や課税の公平性、公共事業の計画または推進が期待される。さらに近年では、災害復旧の迅速化が図られることで、有用性が高まっている。 ・比較的土地の活用や異動が多い地区の事業実施により今後の土地の利活用において、土地の調査の省力化や効率化が期待できる。
--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
国土調査事業【建設課】	国土調査法に基づく地籍調査	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・第31-2計画区(平成・土川・本町)の地籍簿や地籍図を作成し、成果を確認した。 ・第32計画区(本町・城内・元町・日吉)の現地立会いや測量を行った。 ・第33計画(千谷川・城内・本町・元町)の事前調査を行った。 	地積の小さい筆が多い市街地の調査のため、進捗率の伸びが小さい。	国の国土調査事業十箇年計画に基づき県が作成する事業計画のもと、確実な事業進捗を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	42
総合計画ページ	P.98		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	1	危機管理体制の強化
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 中越大震災の経験と教訓の継承 ■ 防災意識の啓発と組織強化 ■ 風水害に備える意識の啓発と情報発信 ■ 大規模災害の緊急応急対策や復旧作業のための体制強化 ■ 原子力防災知識の向上 ■ 各種計画・各種マニュアルの見直し <ul style="list-style-type: none"> ■ 防災施設整備の検討 ■ 耐震改修の促進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
自主防災会による訓練実施数	回	29	14	22	40	55.0	防災安全課
緊急情報メール配信サービス登録者数	件	4,824	5,412	5,494	5,500	99.9	防災安全課
戸建住宅の耐震化率	%	74.6	75.6	75.7	85.0	89.1	建設課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
防災訓練実施事業【防災安全課】	総合防災訓練・地区別防災訓練・原子力防災訓練の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
自助や共助による災害初動体制の強化を目的とする地区別防災訓練(東山地区)を実施した。	訓練参加者が自主防災組織の役員に偏る傾向があり、若者の参加を促す必要がある。 また、親子で参加できるような仕組みをつく作らなければならない。	自主防災会や消防団、防災関係機関の相互の連携強化と自助や共助による災害初動体制の強化を目的とした地区別防災訓練(岩沢地区)を実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
中越大震災ネットワークおぢや研修事業【防災安全課】	中越大震災ネットワークおぢやを通じた住家の被害認定調査などの研修の実施による災害時の対応力の向上と相互支援が可能となるネットワークの構築	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
5月と9月に会員向け研修会を開催した(実地研修会に72名、オンライン研修会に151名が参加)。被災地において研修の成果が発揮されている。	会員数が90となり研修会の需要は高まっているが、事務負担が大きく通常業務に影響を及ぼしている。	一部業務の外部委託を含め、負担軽減策を検討しつつ、例年通りの規模により研修会を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
木造住宅耐震診断・改修・設計等補助事業【建設課】	木造住宅耐震診断費補助、耐震改修設計・工事費補助、部分補強費補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
補助事業申請件数 4件 (耐震診断4件、耐震改修設計0件、工事費補助0件)	対象建築物の所有者の多くが高齢者であり、耐震化への意欲が低いことや資金面が要因となり、利用件数が増加していないものと考えられる。	これまでの周知方法に加え、より多くの市民から耐震診断及び改修の必要性を認識してもらうため、全町内会へ回覧を依頼する(周知を住宅所有者に限定しない。)

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	43
総合計画ページ	P.101		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	2	消防・救急体制の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 消防車両、装備、消防施設の充実と関係機関との連携 ■ 住宅防火対策の推進 ■ 救急体制の強化 ■ 消防団員の確保と活動しやすい環境の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
火災出火率/1万人	件	4.26	2.64	2.67	2.56	-	消防本部
出火件数	件	15	9	9	9	-	消防本部
死傷者数	人	4	2	1	0	-	消防本部
死傷者数(死者数)	人	0	1	0	0	-	消防本部
住宅用火災警報器設置率	%	87.0	81.0	85.0	98.0	86.7%	消防本部
住宅用火災警報器設置率(条例適合設置率)	%	65.0	62.0	58.0	95.0	61.1%	消防本部

※住宅用火災警報器設置率は、条例適合設置と一部設置を含むものをいい、条例適合設置率は火災予防条例に基づき設置が義務付けられている住宅部分すべてに設置されているものをいう。

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
消防施設整備事業【消防本部】	消防車両などの充実、通信指令施設の更新、消防水利施設の設備、広範囲大規模火災対応訓練の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
消防団積載車(平沢)1台更新、耐震性貯水槽(上ノ山)1基新設し、消防力の充実に図った。	消防団車両及び消防水利施設の整備により消防力が強化されている。また、小千谷市地区別防災訓練(東山地区)を実施したことで、地元自主防災会と消防団の連携訓練による地域防災力の強化が図られている。	大規模災害に備え、小千谷市地区別防災訓練(岩沢地区)では地元自主防災会と消防団が連携する訓練を継続して実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
住宅防火対策推進事業【消防本部】	住宅用火災警報器の適合設置率の向上、住宅防火モデル地区の指定、高齢者に対する防火指導	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
住宅用火災警報器の条例適合設置率の向上に向け、住宅防火モデル地区(片貝7町内)に対して説明会を実施し、19世帯41個の新規設置につながった。	住宅用火災警報器の条例適合設置率の向上が急務であるとともに、設置義務から10年が経過しており、機器更新等の広報等が必要になっている。	条例適合設置率の向上や機器更新について、市ホームページへの掲載をはじめ、「わが街ナビ」の活用や地域説明会を継続し、広く市民へ広報活動を展開する。

事業名【担当課】	事業概要	
救急業務高度化推進事業【消防本部】	救急車・高度救命資器材の充実、救急(救命)講習の推進、救命サポート事業の促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
各種救急講習会(21回420名受講)を開催した。救命サポート事業においては市内120事業所から賛同をいただいている。	新型コロナウイルス感染症の流行により、救急講習会の受講者数は前年比減となり、救命サポート事業数は前年同数の結果となっている。	マスク基準の見直しと新型コロナウイルス感染症の5類移行を契機に、従来規模の事業内容に戻し、管内の救命率向上に取り組む。

事業名【担当課】	事業概要	
消防団整備事業【消防本部】	消防団員の加入促進、活動環境の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・消防団の加入促進を目的とする報酬引き上げが決定した(R5年度からの実施)。 ・消防団員ヘルメット更新事業が完了し、全団員の活動環境の改善が図られた。	消防団員の加入PR活動を実施しても団員数が減少しているのが現状であり、地域防災力の低下が懸念される。R5年4月1日現在597名(前年比18名減)	消防団活動服を15年ぶりに更新(2ヶ年計画)し、イメージアップを図り、加入促進につなげる。消防団事業内容を随時見直し、団員の負担軽減に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	44
総合計画ページ		P.103	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	1	安全な市民生活の確保
施策	3	交通安全と防犯の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通安全の推進 ■ 交通安全施設の整備 ■ 防犯の推進 ■ 消費者行政の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
交通事故発生件数	件	54	47	29	50	-	防災安全課
交通事故による死傷者数(死者)	人	3	0	0	0	-	防災安全課
交通事故による死傷者数(傷者)	人	62	57	37	60	-	防災安全課
消費生活相談の開設日数	日	240	240	240	240	100%	市民生活課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<p>【防災安全課】 防犯灯設置のための補助金交付や寄贈を受けた灯具の現物支給を町内会に対し行った結果、220灯の防犯灯がLED化された。</p>

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
交通安全推進事業【防災安全課】	交通安全運動の実施、交通安全教室の実施などの啓発活動	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
交通安全運動や交通安全教室を実施したほか、R4年の小千谷市内での交通死亡事故発生件数0件を達成した。	R4年に発生した交通事故のうち、高齢者による事故が6割以上を占めているため、今後も高齢者に対する交通安全活動に注力する必要がある。また、自転車乗車用ヘルメット着用の努力義務化について、周知啓発する必要がある。	各種交通安全運動などの機会を捉えて周知啓発を実施するほか、引き続き交通安全教室を実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
交通安全施設整備事業【防災安全課】	カーブミラー資材支給、道路区画線整備、ガードレール設置・修繕	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
交通安全協会各支部から延べ19件のカーブミラー資材支給申請があり、支給を行った。	交通安全協会等関係機関と連携し、危険個所の改善を継続していく必要がある。	交通安全協会等関係機関と連携し、カーブミラー資材支給等を通して、危険個所の改善を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
防犯対策事業【防災安全課】	防犯灯設置のための補助、通話録音装置の貸与、犯罪被害防止のための啓発活動	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
防犯灯や防犯カメラ設置、防犯活動のための補助、通話録音装置貸与等を実施し、犯罪被害の防止のための啓発を進めた。また、犯罪被害者等見舞金支給要綱を作成した。	特殊詐欺被害の防止に努めているが、新たな詐欺手口について知識を得ることや周知をしていくことが求められている。	引き続き、防犯灯や防犯カメラ設置、防犯活動のための補助、通話録音装置貸与等を実施する。また、市内で不審電話等が発生した際にSNSやHPを活用し、迅速な注意喚起に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
消費者行政事業【市民生活課】	消費生活相談・無料法律相談の開設、消費生活被害防止のための啓発活動	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
78件の消費生活相談に対応し、主に高齢者を対象とした啓発講座を開催した。また、市内の高校生や新成人を対象に啓発冊子の配付を行った。	相談窓口の周知や啓発活動を継続して行うことで、被害防止効果を上げている。成人年齢引き下げに対応した啓発に注力する必要がある。	消費生活相談や無料法律相談を例年どおり実施する。高齢者の被害防止のための啓発活動のほか、成人年齢引き下げに対応した若年者への啓発を継続して行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	45
総合計画ページ	P.105		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	1	自然環境との共生
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然や生態系の保全と啓発 ■ 快適な生活環境の保全と創造 ■ 環境に関する調査・監視の実施 ■ 地球環境に関する啓発 ■ 有害鳥獣対策の推進 ■ 省エネルギーの推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
森林の保全運動参加者数	人	349	295	350	300	116.7	農林課
省エネ設備(LED照明)導入施設数	施設	9	9	9	11	81.8	建設課
多自然型水路の整備延長	人	2,813	2,835	2,835	2,900	97.8	建設課
小千谷猟友会会員数	人	18	18	19	18	105.6	環境共生課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
環境啓発事業【環境共生課】	環境基本計画の年次報告作成と公開、環境意識の啓発	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書「小千谷市の環境」を小千谷市環境審議会委員の意見を踏まえて作成し、公表した。 ・広報誌や町内会への出前講座を通じて、環境に対する意識啓発を図った。 	環境審議会委員から指摘のあった事項(環境基準を超えている指標等)や未対応事項への対策を行う必要がある。	引き続き、環境基本計画に基づき関係課による環境保全や環境意識の啓発等の事業を進める。
省エネルギー設備導入推進事業【環境共生課】	公共施設における省エネルギーの推進、低燃費・低排出ガスの公用車の導入	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度は総合体育館の武道場や弓道場、市民プールなどの照明をLEDに改修した。また、公用車に電気自動車1台、プラグインハイブリッド自動車1台を導入した。	市の事務や事業における温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比50%削減)達成には、更なる省エネの取組が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・順次、公共施設の照明のLED化を進める。 ・低燃費、低排出ガスの公用車導入については、車両更新時に電気自動車への更新を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
環境うるおい事業基金事業 【企画政策課】	信濃川の河川環境の維持向上など、環境との調和を図るための事業の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
市民生活と環境との調和を図るため、基金を活用して環境保全対策事業などを実施した。 ・事業数:8事業／事業費:204,989千円 ・基金充当額:71,134千円	河川環境をはじめとした自然環境の維持向上や環境との調和を図るために必要な事業を実施することができている。	引き続き、基金を活用して環境保全対策事業等を実施する。
事業名【担当課】	事業概要	
有害鳥獣対策事業 【農林課/環境共生課】	関係機関との連携による、有害鳥獣の捕獲、駆除を行う人材の確保・育成に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
関係機関との連携により、有害鳥獣の捕獲を行った。また、研修機会の提供等を図り、人材の確保や育成に努めた。	駆除対象となる有害獣が豪雪等のため減少しているが、クマによる給餌器被害が増加している。地域の猟友会において若手の人材確保や育成に課題がある。	<p>【農林課】 関係機関との連携により引き続き、適正かつ計画的な有害鳥獣の捕獲や駆除を行う。また、研修機会の提供等を図り、今後も継続して人材の確保や育成に努める。</p> <p>【環境共生課】 関係機関との連携により引き続き、適正かつ計画的な有害鳥獣の捕獲や駆除を行う。また、有害鳥獣捕獲の担い手を確保育成するためにR5年度新設した補助金の周知を行い、更なる人材の確保や育成に努める。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	46
総合計画ページ	P.108		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	2	資源リサイクルの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ ごみの減量化と再資源化の推進 ■ 不法投棄対策の推進 ■ 衛生施設の適正管理と今後の基本方針策定

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標		単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課	
ごみ排出量	燃やすごみ	t	11,050	10,881	11,156	7,988	-	環境共生課	
	埋め立てごみ	t	838	849	804	574	-	環境共生課	
	資源ごみ	t	2,149	1,982	1,960	2,589	-	環境共生課	
	計	t	14,037	13,712	13,920	11,151	-	環境共生課	
資源物集団回収量	古紙類	新聞	t	170	129	134	296	45.3	環境共生課
		雑誌・チラシ	t	245	183	183	426	43.0	環境共生課
		ダンボール	t	98	86	89	171	52.0	環境共生課
		牛乳パック	t	1	0	0	2	0.0	環境共生課
		計	t	514	398	406	895	45.4	環境共生課
	金属類	アルミ	t	2	1	1	3	33.3	環境共生課
		スチール	t	1	1	1	2	50.0	環境共生課
		計	t	517	400	408	900	45.3	環境共生課
	古紙分別回収量	新聞	t	119	133	122	202	60.4	環境共生課
		雑誌・チラシ	t	237	218	207	403	51.4	環境共生課
ダンボール		t	115	125	120	195	61.5	環境共生課	
計		t	471	476	449	800	56.1	環境共生課	
一人1日あたり排出量		g	1,099	1,109	1,140	900	-	環境共生課	
リサイクル率		%	18.4	17.1	16.5	23.0	71.7	環境共生課	

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

R3年度にパソコン等の使用済小型家電リサイクルを推進するため、無料で宅配便回収を実施しているリネットジャパンリサイクル(株)と協定を締結したことによりR4年度のごみ排出量を約1.5t抑制することができた。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
ごみ減量化・再資源化事業【環境共生課】	3R運動、古紙の分別回収、おぢやのごっつお食べ切り運動、資源物集団回収に対する支援、生ごみ処理機器の購入に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 資源物集団回収で古紙類406t、金属類2tの計408tを回収した。 3R運動については、ごみそのものを減らすため、様々な媒体で取組を周知している。 古着や靴、鞆、食器類等のリサイクル回収では古着類を10t、食器類を6t回収した。 おぢやのごっつお食べ切り運動は旅館組合へのポスター掲示依頼と、市HPでの啓発により実施した。 生ごみ処理機購入費補助については、堆肥化容器12台と電動生ごみ処理機2台の購入に対して補助金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量化や再資源化事業に積極的に取り組んだが、ごみ排出量の減量につなげることができなかった。 生ごみ処理機器購入費補助金の申請件数が少ないため、PRの工夫や補助対象機器の見直しなど、申請件数増加につながる取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 燃やすごみの搬出量が増加傾向にあることから、分析を行い、具体的なごみの減量化とリサイクルの推進につながる意識啓発を様々な媒体を活用して実施する。 生ごみ処理機器購入費補助金の申請件数増加のため、販売店舗等と連携したPRや広報の回数を増やす等、PR強化に努めるとともに、補助対象機器を見直すなど、より活用しやすい補助制度となるよう、検討する。

※3R運動…Reduce(リデュース:ごみの発生を抑えること)、Reuse(リユース:物を繰り返し使うこと)、Recycle(リサイクル:ごみを資源として再利用すること)に取り組むこと

事業名【担当課】	事業概要	
環境衛生向上事業【環境共生課】	ごみ収集場所の整備に対する補助、不法投棄やごみの野焼きの監視、ごみゼロ運動	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集場所5か所に対して補助金を交付した。 不法投棄巡回パトロールを実施したほか、衛生班長連絡協議会と連携して不法投棄実態把握調査を実施し、原状回復に努めた。 野焼きに関して、禁止の啓発や関係機関と連携して現場指導を行った。 ごみゼロ運動では、4月と5月の最終日曜日(一斉清掃行動日)に実施した団体が多くあり、5,874人の参加があった。また、その他の日(4~11月まで)にも3,382人の参加があり、年間で合計9,256人の参加があった。 	<p>環境衛生向上のために様々な手法で意識啓発を図り、環境美化につなげることができている。大小問わず、不法投棄やごみの野焼きが後を絶たないことから、関係機関と連携し、減少につながる取組を実施する必要がある。</p>	<p>不法投棄やごみの野焼きが後を絶たないことから、パトロールの強化や意識啓発を工夫する等、減少につながる取組を実施する。</p>

事業名【担当課】	事業概要	
衛生施設整備事業【環境共生課】	ごみ・し尿処理施設の設備更新、焼却灰などの最終処分委託、施設整備基本方針の策定	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> R元年度に策定した長寿命化総合計画に基づき焼却処理施設及び不燃ごみ処理施設の計画的な維持修繕を実施した。 し尿処理施設維持修繕については、H24年3月に策定した長寿命化計画に基づき維持修繕を行った。 焼却灰や不燃残渣については、全量を県外の最終処分場に委託搬出した。 時水清掃工場の老朽化に伴い、次期焼却処理施設基本構想を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に各処理施設の設備の営繕に努め、概ね良好な状態を維持している。 老朽化が著しい衛生センター清流園の今後の施設整備方針について検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、長寿命化計画等に基づく施設維持に努める。 次期焼却処理施設基本構想に基づく検討を進める。 衛生センター清流園の今後の施設整備方針やし尿処理の今後の在り方について検討し、方向性を決める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	47
総合計画ページ	P.111		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	2	自然と共生する循環型社会の推進
施策	3	再生可能エネルギーの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入 ■ 再生可能エネルギーによる地域産業の活性化 ■ 環境に関する意識の醸成

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
公共施設における再生可能エネルギー導入施設数	施設	1	1	2	3	66.7	環境共生課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【環境共生課】

小千谷市地球温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガスの排出量削減目標を設定した。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
再生可能エネルギー導入推進事業【環境共生課】	公共施設・地域産業における再生可能エネルギー設備の導入、環境に配慮した公用車の導入、雪冷熱を活用した地域産品ブランド化と都市間交流の推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
錦鯉の里に地中熱(地下水熱)を利用する空調・池昇温システムを導入した。	市の事務や事業における温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比50%削減)達成には、更なる再エネの導入が必要である。	R5年度は図書館等複合施設に太陽光や地中熱、雪氷熱を利用する再エネ設備を導入する。
事業名【担当課】	事業概要	
環境啓発事業【環境共生課】	再生可能エネルギーに関する学習・教育機会の充実	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
新潟県と連携し、「しゃっこいまつり」でブースを出展して参加者に脱炭素の意識啓発を行った。 また、広報おちやで地球温暖化対策の特集を組み、取組の重要性を周知した。	再エネ設備の導入効果を市民や事業者等にPRする必要がある。また、個人でもできる脱炭素の取組を周知する必要がある。	再生可能エネルギー設備の導入効果をPRし、理解促進を図る。 また、新潟県と連携し、市民に向けた啓発事業を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	48
総合計画ページ	P.113		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	1	冬期間交通の確保
施策の 基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 機械除雪体制の整備 ■ 消雪パイプリフレッシュ事業の推進 ■ 消雪パイプ整備事業の実施 ■ 流雪溝の安定使用のための対策の推進 ■ 雪崩危険箇所における安全対策の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
消雪パイプ布設替え延長(H21からの累計)	施設	14.2	16.0	16.6	19.0	87.4	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

消雪パイプのノズル等の修繕 26,437,868円

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
除雪機械更新事業【建設課】	ロータリ除雪車などの更新	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
ロータリ除雪車を購入した(1台 49,323千円)。	R4年度にロータリ除雪車(1台)の更新、R5年度に凍結防止剤散布車(1台)の更新を予定しており、計画的に更新することができる。	凍結防止剤散布車(1台)を更新する。

事業名【担当課】	事業概要	
消雪パイプ整備事業【建設課】	消雪パイプ未整備路線における新設	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
新規布設245m 11,635,800円 (西部工業団地内の市道の新設布設)	利用組合等が井戸を削井し、水量を確保した上で、市が消雪パイプを布設している。	引き続き、西部工業団地内の市道において、新規布設を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
消雪パイプリフレッシュ事業【建設課】	経年劣化した消雪パイプの布設替え	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
布設替587.9m 45,042,800円 (本町山本線、山寺幹線)	計画的に消雪パイプリフレッシュ事業(布設替)を実施している。	鴻巣町裏線の消雪パイプリフレッシュ事業を実施予定

事業名【担当課】	事業概要	
融雪施設整備助成事業【建設課】	消雪パイプの電気料や消雪用井戸の掘替えなどに対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
電気料補助 333件 30,942,000円 井戸掘替え等補助 21件 30,498,000円	予算計上していない井戸掘替え等の要望には、次年度に予算を確保した上で計画的に対応している。	事前に予算計上していない井戸のポンプ交換等の要望には、優先順位を付けて対応する。
事業名【担当課】	事業概要	
流雪溝安定使用対策事業【建設課】	取水障害対策や送水管更新などの促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
元町揚水機場のポンプ点検を実施した。	JR導水管路で漏水があり、修繕が必要となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に応急処置したJR導水管路の漏水修繕を行う。 ・県が行うひ生揚水機場の水利権更新に協力する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	49
総合計画ページ		P.115	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	5	自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)
基本方針	3	暮らしやすい雪国生活の推進
施策	2	雪国生活の充実
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 雪と親しみ、雪と共生する意識の醸成 ■ 克雪住宅の普及促進 ■ 高齢者対応型投雪口の整備 ■ SOS雪おろし支援事業における作業会員の確保

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
※一戸建住宅数:9,946戸							
克雪住宅普及率(補助制度利用件数)	件	2,771	2,821	2,844	3,100	91.7	建設課
克雪住宅普及率	%	27.9	28.0	28.0	31.2	89.7	建設課
高齢者対応型投雪口設置数	か所	399	420	445	450	98.9	建設課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

【建設課】
命綱固定アンカー普及促進事業:補助申請件数4件

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
克雪フェア開催【建設課】	克雪フェアの継続実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
利雪や克雪に対する意識啓発のため「体験」を主軸にイベントを組み立て、親子連れをメインに来場があった(来場者5,000人)。	R4年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、イベント規模を縮小して開催した。流行収束後のイベントとして時勢のニーズにあったイベント内容に見直すことが必要である。	利雪と克雪に対する意識向上のため、時勢のニーズにあったイベント内容に見直し、充実を図る。また、おぢやまつりとの連携を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
克雪すまいづくり支援事業【建設課】	融雪型、落雪型、耐雪型などの住宅屋根の整備に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
補助申請件数 23件 (融雪式11件、落雪式8件、耐雪式4件)	克雪住宅化に対する意識が低下しており、豪雪時の屋根雪下ろしの危険性を含め、更なる情報発信が必要である。	屋根雪下ろしの危険性を含め、克雪住宅化の必要性を発信する。SNSを活用し、補助事業の更なる周知により克雪住宅の普及を促進する。

事業名【担当課】	事業概要	
除雪支援事業【福祉課】	低所得者の高齢者世帯、母子世帯、障がい者世帯などに対する除雪サービス券の交付などの支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<p>高齢者世帯への除雪援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯 387世帯 ・実施世帯 329世帯 ・延実施世帯 501世帯 <p>障がい者世帯への除雪援助※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯 17世帯 ・実施世帯 15世帯 ・延実施世帯 26世帯 <p>母子世帯への除雪援助※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯 3世帯 ・実施世帯 2世帯 ・延実施世帯 4世帯 <p>※社会福祉協議会での実施事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員と連携し、支援が必要な世帯の把握に努める必要がある。 ・高齢者世帯や高齢者ひとり世帯は増加傾向にあり、引き続き除雪援助が必要である。 ・高齢者世帯については、除雪業者一覧のリーフレットを作成し、配布した。除雪の依頼が可能な業者を周知することで、安全で安心な除排雪体制を拡充した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間における生活の安全確保のため、自力で除雪が困難な高齢者世帯や障がい者世帯、母子世帯などを対象として引き続き、除雪支援を行う。 ・除雪業者一覧表の作成と配布を継続する。

事業名【担当課】	事業概要	
高齢者対応型投雪口設置事業【建設課】	高齢者などが利用しやすい観音開き型の投雪口の設置	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<p>投雪口の設置調査を28箇所で行い、25箇所に設置した。</p>	<p>近年の極端な降雪状況の中、日中において高齢者や女性だけとなる世帯の実情も考慮し、対応することが必要である。</p>	<p>設置基準を基に対象世帯を設定するとともに、各町内からの要望状況(考慮すべき事情)を踏まえながら、投雪口を設置する。</p>

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	50
総合計画ページ		P.118	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	1	移住・定住人口の拡大
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 移住・定住情報の発信 ■ 移住に関するニーズの把握と移住者に対する支援 ■ U・Iターンの推進 ■ 地域おこし協力隊制度の活用

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標(後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(% (R4/R7))	担当課
移住定住情報ポータルサイト閲覧件数	件/月	207	2,038	2,182	2,500	87.3	にぎわい交流課
空き家バンク新規登録件数	件/月	7	10	11	10	110.0	にぎわい交流課
空き家バンク成約件数	件/年	5	8	5	10	50.0	にぎわい交流課
地域おこし協力隊受入者数	人	18	22	24	30	80.0	にぎわい交流課
地域おこし協力隊定住者数	人	15	17	19	25	76.0	にぎわい交流課
転入者に対する住宅取得補助件数	件/年	24	19	19	25	76.0	建設課
学生(高校生～大学生)の市内就職者数	人/年	-	107	159	40	397.5	商工振興課

(2) その他成果(主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要		
移住・定住PR事業【にぎわい交流課】	移住定住情報ポータルサイトによる情報発信		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・移住ポータルサイト「おぢやにススム」の運営 ・Instagramの開設 ・Facebookの更新 	ホームページで迅速な情報発信を行うとともに、若年層にも届くよう、SNSを活用し、リアルタイムな情報発信を継続的に行っている。	移住関連情報を中心に小千谷の情報を広く発信する。関係人口拡大推進事業と連携して情報発信の強化に取り組む。	
事業名【担当課】	事業概要		
移住者・転入者支援事業【にぎわい交流課】	移住サポーターの委嘱		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)	
移住サポーター2名委嘱(相談数0件)	移住相談を主な仕事としているが、相談実績がない。	引き続き、移住レポートの更新など、情報発信を行い、移住サポーター制度の周知に努める。	

事業名【担当課】	事業概要	
移住支援事業【にぎわい交流課】	移住セミナー・移住相談会などの開催、移住希望者に対するマンツーマンでの対応	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
移住相談会・セミナーへの参加6回(うちオンライン参加3回 計7日)	引き続き、移住検討者は増加傾向にあり、漠然と移住を考えている層を取り込むためにも、移住セミナーへの継続参加が必要である。	首都圏での移住関連イベントに協力隊や移住サポーターとともに参加し、小千谷の知名度向上と移住者増加を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
空き家バンク運営事業【にぎわい交流課】	空き家情報の提供と登録物件の斡旋	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・空き家新規登録物件:11件 ・空き家成約件数:5件	移住、住替え要望に応じた物件の登録数の増加に伴い、成約数が増加した。今後も新規登録数の増加に向けて情報発信を継続することが必要である。	全国版空き家バンクとの情報共有を進め、市内外への情報発信に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
定住促進事業(再掲)【建設課】	転入者や子育て世代に対する住宅取得補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金申請件数 96件 ・転入者 19件(うち子育て世代 19件) ・子育て世代 77件(上記転入者を含まない)	申請者数は堅調に推移している。引き続き、制度の周知に努める必要があり、特に中古住宅購入者への周知が必要である。	対象者へ確実に情報が届くよう、広報紙やホームページ、SNS等を活用し、制度の周知徹底を図る。
事業名【担当課】	事業概要	
地域おこし協力隊推進事業【にぎわい交流課】	地域おこし協力隊の活用による移住・定住促進事業	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・活動隊員:5名 ・地域おこし協力隊退任後の定住率:73.6%(R4年度末14人/19人) 【参考】全国平均:65%	全国平均より高い定住率を維持できている。受入団体とコミュニケーションを図り、良好な関係を築くことができている。	目標の9人採用に向けて受入団体と連携し、募集内容の具体化を図る。目に留まるPRを行う。
事業名【担当課】	事業概要	
「おちや夢・ミライ応援団」による就労支援事業(再掲)【商工振興課】	産学官の連携により、若者の地元就労を促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・おちやしごと未来塾開催:1回 ・インターンシップ受入調査:市内企業202社 ・インターンシップ受入仲介:1名	インターンシップの受入仲介が伸び悩んでいるため、対応が必要である。	市内企業PVなど、市内就職サイトへの誘導が不足しているため、広告代理店等と連携し、効果的な改善策を検討する。

事業名【担当課】	事業概要	
「小千谷未来パスポート」によるU・Iターン促進事業(再掲)【商工振興課】	首都圏などの高等教育機関などとの連携により若者のU・Iターン就労を促進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡定住自立圏事業:3回 (インターンシップガイダンス・就職ガイダンス・高校生のための企業フェス) ・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金申込:1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡定住自立圏事業と連携することで、広域的な就職ガイダンスが実施できた。 ・U・Iターン学生就職活動支援事業補助金のチラシ等を整備し、周知を強化した。 	U・Iターン学生就職活動支援事業補助金の認知度向上のため、ガイドブックやSNS、ホームページの周知を図るとともに、オンライン申請の申込フォームを整備する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	51
総合計画ページ		P.121	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	2	都市間交流の推進と関係人口の拡大
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係人口の拡大 ■ 多様な都市間交流の推進 ■ 交流拠点の魅力の向上

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
教育体験旅行延受入者数	人/年	3,432	0	0	4,000	0.0	にぎわい交流課
教育体験旅行学校数	校/年	12	0	0	15	0.0	にぎわい交流課
教育体験旅行受入家庭登録世帯数	世帯	59	54	54	70	77.1	にぎわい交流課
小千谷クラインガルテンふれあいの里滞在型農園の利用区画数	区画	22	30	30	30	100.0	にぎわい交流課
市民の家年間利用件数	件	812	573	665	1,200	55.4	にぎわい交流課
(内訳) 日帰り	件	240	192	252	350	72.0	にぎわい交流課
(内訳) 宿泊	件	572	381	413	850	48.6	にぎわい交流課
市民の家年間利用者数	人	15,084	5,698	6,349	21,000	30.2	にぎわい交流課
(内訳) 日帰り	人	10,607	3,695	4,198	14,600	28.8	にぎわい交流課
(内訳) 宿泊	人	4,477	2,003	2,151	6,400	33.6	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
小千谷市支援団体設立支援事業【にぎわい交流課】	市内出身者やふるさと納税利用者などによる支援団体の設立、運営に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
おぢやLINKのSNS更新(LINE:25回、Instagram:50回、Twitter:33回)	会員数増加と認知度向上のため、継続的な情報発信が必要である。	会員数増加に向けて、魅力ある情報発信を行えるよう、受託者と連携して取組を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
農村都市共生事業【にぎわい交流課】	教育体験型交流やグリーンツーリズムによる都市との交流推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・新型コロナウイルス感染症の流行により、学校等の受入実績なし。 ・観光商談会への参加:3回 ・ファームステイの受入数:1団体21名	新型コロナウイルス感染症の流行により関わりのあった学校等の受入れが途絶えているが、明治大学農学部ファームステイ実習を新規に受け入れ、新たな関係を築くことができている。	教育体験旅行の再開が難しい状況が続いているため、業者向けの商談会への参加などを継続しながら、関係づくりに努める。

事業名【担当課】	事業概要	
交流拠点施設整備事業 【にぎわい交流課】	市民の家やクラインガルテンふれあいの里の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
杉林伐採など、環境整備の実施や適切な修繕による施設の維持管理を行った。	魅力維持のため、ラウベや防護柵の老朽化に対応した定期的な修繕を継続する必要がある。	施設点検を継続的に行い、計画的に整備を行う。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	52
総合計画ページ	P.123		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	1	交流・移住・定住の推進
施策	3	国際交流の促進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際交流団体との連携強化 ■ 国際交流による人材育成 ■ 在住外国人に対する支援 ■ 海外留学生との交流の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
国際交流促進振興関係補助制度の利用件数	件/年	1	0	0	5	0.0	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
国際交流推進事業 【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	国際親善交流事業や海外研修への参加に対する補助、ホスタウン事業の推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
実績なし	新型コロナウイルス感染症の流行により海外との往来が実質停止していた。	外国人留学生が日本に来られる環境になったため、新型コロナウイルス感染症流行前の活動状態に戻して事業を実施する。

事業名【担当課】	事業概要	
国際交流環境整備事業(再掲) 【にぎわい交流課/文化スポーツ課】	外国語による生活情報の提供、外国語パンフレットの配布、外国人のための日本語教室の開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・市内在住外国人の生活に必要な情報提供などの事業を実施した。 ・日本語教室の中で夏季に市内高校生と陶芸体験を行ったことで、市民との交流を通してより実践的な日本語学習を深めることができた。	日本語学習を必要とする外国人に対して教室の存在が十分に周知されていない。	他課と連携し、日本語学習を必要とする外国人の情報収集を徹底し、事業の周知を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
海外留学生受入支援事業 【にぎわい交流課】	海外留学生の受入れに取り組む団体に対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
実績なし	新型コロナウイルス感染症の流行により海外との往来が実質停止していた。	海外留学生の移動制限緩和に伴う事業再開に対応する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	53
総合計画ページ	P.125		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	1	市民協働のまちづくりの推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民協働の意識啓発 ■ 中間支援組織の育成 ■ 事業実践における市民協働 ■ 公民館活動の充実

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
中間支援組織が支援する市民協働事業延件数	事業	3	0	0	12	0.0	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
市民協働意識醸成事業 【にぎわい交流課】	多様な広報媒体による意識啓発、市民協働ワークショップなどの開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
複合施設建設に向けた市民協働の取組を実施した。	新型コロナウイルス感染症の流行による地域活動や市民協働の取組の停滞が続いている。	引き続き、市民協働意識を市の業務に取り入れるよう、啓発を進める。
事業名【担当課】	事業概要	
中間支援組織支援事業 【にぎわい交流課】	地域づくり支援団体が協働の当事者を支援するための活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
補助制度や事業実施に関する相談を受けた。	地域活動を行う各種団体からの相談体制を維持する必要がある。	引き続き、にぎわい交流課に相談窓口を設置して事業を支援する。
事業名【担当課】	事業概要	
公民館分館活動支援事業(再掲) 【文化スポーツ課】	出前講座リスト提供、分館活動への助成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・市政に関する学習機会を提供するため、職員による出前講座を2回開催し、延べ51人が参加した。 ・分館運営費の助成や物品貸出を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館から情報収集する手段を検討する必要がある。 ・多様なまちづくり団体を育成し、分館ごとの課題を明確にする必要がある。 	引き続き、分館関係者会議を地区ごとに開催し、きめ細かな情報収集を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
地域支え合い事業(再掲)【福祉課】	生活支援体制の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における支え合い組織を一覧にした「地域支え合いマップ」を更新し、普及啓発に努めた。 ・第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、千谷川町内における支え合い組織の立ち上げを支援した。 	<p>団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、介護や支援が必要になっても支え合いや助け合いにより地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステム体制の構築を推進している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に不足している生活支援の手助けを行う第2層生活支援コーディネーターを10人配置し、生活支援体制の充実を図る。 ・城川地区を重点的に地域支え合い事業の促進を図る。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	54
総合計画ページ		P.127	

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	2	市民協働と地域づくり
施策	2	地域力を活かした市民活動の推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 町内会などに対する支援 ■ 住民団体に対する支援

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
中間支援組織に対して相談を行った市民団体数	団体	49	31	31	70	44.3	にぎわい交流課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
町内集会施設等整備事業【にぎわい交流課】	町内集会施設などの新設や大規模修繕などに対する補助	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
2団体に対する新築補助と5団体に対する施設修繕補助を実施した。	町内集会施設の老朽化に対応するため引き続き、施設維持を支援する必要がある。	継続して支援を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
市民協働支援事業【にぎわい交流課】	地域課題を解決する活動や地域を活性化する活動に対する支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
・市民協働支援補助金の利用は0件だった。 ・各種団体からの相談に対応した。	新型コロナウイルス感染症の流行により停滞した地域活動を再開する動きがある。一方、漫然と行われてきた行事の廃止が進んでいる。	引き続き、地域が取り組む活動を支援する。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	55
総合計画ページ	P.128		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	1	観光施設の整備と活用
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光拠点施設の整備 ■ 山本山の資源連携推進 ■ 遊歩道の利活用

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
観光拠点施設の来場者数	人	270,134	153,299	197,270	300,000	65.8	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ちぢみの里誘客推進事業」の実施 ・3回目ワクチン接種に合わせて、無料入館券を配布した(4月～5月:券利用者数2,389人)。 ・4月の入館者数6,301人は前年同月4,310人に比べて大幅に増加した。

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
観光拠点施設整備事業 【にぎわい交流課】	サンブラザ、錦鯉の里、ちぢみの里、おちゃ～るの基幹的設備の更新	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
各施設の老朽化した設備等の入替を行い、施設の安定運営に努めた。 【ちぢみの里】 ・空調設備の更新 ・露天風呂屋根の改修 ・貯湯槽の改修(※R3年度繰越) ほか 【サンブラザ】 ・高圧受電設備の入替 ・パラペット等の改修 ほか 【錦鯉の里】 ・地中熱ヒートポンプの導入 ・濾過槽の改修 ほか	・各施設とも老朽化による設備の入替が必要状況にある。 ・不良箇所が確認されているような緊急度の高いものから順次更新しているほか、小規模な対応で可能なものは適宜修繕を行っている。	引き続き、優先順位を決め、必要設備の取捨選択や機能更新を検討しながら、効率的な設備改修に努める。

事業名【担当課】	事業概要	
山本山資源連携・誘客促進事業 【にぎわい交流課/農林課】	自然を活かした施設、資源連携強化と誘客情報発信強化	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
【にぎわい交流課】 展望台や沢山ボケットパークに新たな観光資源として雲海や滝雲の紹介パネルを設置し、おちゃ～るには紹介コーナーを設け、山本山景観動画やパネルを設置した。 【農林課】 4～5月にかけて約1.5haに菜の花を開花させ、山本山の景観を活かした誘客に努めた結果、多くの来訪者があった。	【にぎわい交流課】 おちゃ～るやクラインガルテン、山頂休憩所の活用方法の検討が必要である。牧草地を含めたひまわりや菜の花畑等の景観維持を行う農林課と連携し、山本山の魅力発信を行っている。 【農林課】 来訪者が増加しており、警備及び駐車場の確保が必要である。	【にぎわい交流課】 山本山全体の活用方法の検討や雲海、夕方の渡り、パッチワークといった知名度の低い観光資源の周知に努める。 【農林課】 開花時の警備を実施するとともに、臨時駐車場スペースを確保する。

事業名【担当課】	事業概要	
遊歩道活用事業【にぎわい交流課】	遊歩道整備とPR強化、遊歩道を活かした経済活動支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
各遊歩道管理を地元団体へ委託し、安全管理と景観維持に努めた。	ウォーキングやハイキング人気で利用者は多い。整備や維持管理による安全確保が必要であるが、関係団体の高齢化や担い手不足などが課題となっている。	安全確保のため、整備や維持管理を行い、分かりやすい遊歩道マップの作成や周知に努める。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	56
総合計画ページ	P.130		

1. 後期基本計画における位置づけ

基本目標	6	ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)
基本方針	3	観光資源の活用と誘客推進
施策	2	祭りやイベントによる誘客推進
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 誘客推進と観光ルートの設定 ■ まつり行事と運営方法の見直し ■ 広域連携による祭りやイベント情報の発信 ■ 新たな観光情報発信と誘客推進 ■ 観光案内表示の整備推進 ■ 牛の角突き継承

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標 (後期基本計画に掲げた目標値)

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
観光入込客数	人	1,045,453	480,593	796,761	1,130,000	70.5	にぎわい交流課
観光ルート設定数	コース	4	9	9	6	150.0	にぎわい交流課

(2) その他成果 (主要事業以外の事業実施による成果など)

■ 東京駅常盤橋プロジェクト事業「小千谷市認知度調査業務」
「観光に関する意識と行動調査」として首都圏エリア(東京、埼玉、千葉、神奈川県)でアンケートを実施した。

3. 主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
観光プロモーション事業【にぎわい交流課】	関係機関との連携による誘客促進、SNSなどを活用した情報発信、観光ルートの増設と商品化、VRやARなどの動画コンテンツの制作と活用	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
小千谷市の観光PR動画を作成(4K・VR動画)し、関連事業や各種イベント会場でデジタルサイネージやVRゴーグルを利用した上映を行った。また、HPやSNS等を活用し、情報発信を行った。	関連事業やイベント等の機会が少なく、例年同じ場でのPRとなっている。また、誘客と併せて受入体制(宿泊施設等)の整備が必要である。	県内外問わず、広域的なイベントのリサーチや他事業者との関わりを増やせるよう、積極的なアプローチを行う。
事業名【担当課】	事業概要	
広域観光推進事業【にぎわい交流課】	関係機関や団体との連携による祭りやイベントなどのPR活動と情報発信	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
新型コロナウイルス感染症の流行により中止となっていた祭りや各種イベントを実施した。また、旅行者を対象に観光施設のモニターツアーを県や長岡定住自立圏の構成市町村等と連携し、実施した。	新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、規模を縮小して開催した祭りや各種イベントがある。例年実施しているモニターツアーは紹介する施設や場所が限られてきている。	新型コロナウイルス感染症流行の収束後に向けて、祭りや各種イベントの運営体制及び内容の見直す必要がある。モニターツアーによる外部からの意見などを参考に施設の見直しや新たな観光資源の開発を行う。

事業名【担当課】	事業概要	
東京駅前常盤橋プロジェクト錦鯉PR事業 (再掲)【にぎわい交流課/農林課】	東京駅前常盤橋プロジェクト広場を活用した地場産品や観光資源のPR活動実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<p>【にぎわい交流課】 TOKYOTORCH 1周年祭や桜まつりにおいて観光PRブース(PR動画放映、VR体験、錦鯉キャップフォトパネル等)を出展した。 また、当市の魅力を常盤橋イベントやSNS等を活用し、PRした。</p> <p>【農林課】 大江戸錦鯉まつりや1周年まつりなど、8件のイベントにおいて錦鯉水槽を展示し、錦鯉のPR活動を行った。</p>	<p>【にぎわい交流課】 東京に「錦鯉の泳ぐ池」があること自体、浸透していない印象がある。 TOKYOTORCHParkの利用客層に興味を持ってもらうことが課題である。</p> <p>【農林課】 R4年9月から隣接するB棟(TORCHタワー)建設地の既存ビル解体工事が着工している。建設期間も含めて、R9年度まではPRの仕方に工夫が必要である。</p>	<p>【にぎわい交流課】 農林課と連携し、「錦鯉が泳ぐ池」の知名度の底上げとTOKYOTORCHParkの利用客層に向けたPRの方法を検討する。</p> <p>【農林課】 三菱地所(株)が運営するSNSと連携し、錦鯉の学びの機会の創出に併せて特産品や観光情報を提供し、錦鯉発祥の地「小千谷市」をPRする。</p>
事業名【担当課】	事業概要	
観光案内表示(公共サイン)整備事業 【にぎわい交流課】	誰にでもわかりやすい案内表示の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
看板点検を実施し、効果の低い看板を撤去した。	目に付きにくい配置や表示が見えにくいデザイン看板がある。	引き続き、効果の低い看板の撤去や取替による整備を行う。
事業名【担当課】	事業概要	
観光資源支援事業【にぎわい交流課】	文化財継承と事業運営団体支援、角突き牛確保支援	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
<p>・牛の角突きは5月初場所開催後、11月の千秋楽まで計7回開催し、運営費や牛の購入費、牛の移動管理を支援した。</p> <p>・ウクライナ情勢等の影響による飼料高騰の支援を行った。</p>	伝統文化の継承とともに、団体運営の自主財源の確保が必要となっている。	入場料の値上げなどによって自主財源を確保するとともに、闘牛会との連絡を密にし、円滑な運営の支援に努める。
事業名【担当課】	事業概要	
熱気球のパイロット養成普及事業 【にぎわい交流課】	熱気球パイロットの資格取得や養成に対する支援、熱気球の普及のための試乗体験	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度を進め方 (取組・改善策等)
熱気球の試乗体験会及び風船一揆におけるグローバルーンを実施した。	気球団体の高齢化が進み、新規候補生の加入が少なく、試乗体験会や市内の学校等における普及活動等を通じて、若い人達をターゲットにした活動が必要である。チーム内や団体間の連携、風船一揆を含めた熱気球事業の担い手(団体)育成、組織強化が課題である。	試乗体験や体験学習等を通じて、若い世代や子ども達へ熱気球の魅力を伝える。また、熱気球を通じた当市のPRにつなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	57
総合計画ページ	P.133		

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	1	持続可能な行財政運営
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 行財政の効率化と市民サービスの向上 ■ 時代に即した行政組織の構築 ■ 人材育成と人事評価制度の効率的な運用 ■ 計画的な公共施設の管理 ■ 広報広聴機能の充実 ■ 情報システム基盤の整備

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
(掲載項目なし)							

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

<p>【企画政策課】</p> <p>行政改革実施計画に基づき実施した取組 ①行政手続のデジタル化の推進、②スマート自治体の推進、③指定管理者制度の効果的な活用と公共施設の管理運営における民間活力の導入、④インフラ資産の維持管理における包括的民間委託制度の導入、⑤連携協定等による民間とのパートナーシップの推進、⑥行政課題に対応する組織の構築、⑦社会情勢に適応した人材の確保及び育成</p>

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
行政改革の推進【企画政策課】	行政改革大綱に基づく実施計画の策定と進捗管理	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
行政改革実施計画に基づき、7つの取組項目を推進した(上記2(2)に記載)。	取組項目の推進にあたり、行政改革推進委員会の開催や専門部会における中間ヒアリングなどにより進捗管理を行うことで、取組状況や課題を随時整理しながら、取組を推進することができている。	目標達成に向けて進捗管理を行いながら、取組項目を着実に推進する。
事業名【担当課】	事業概要	
公共施設等総合管理計画の推進【企画政策課】	総合管理計画や類型別・個別施設計画に基づく公共施設の計画的な管理運営	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
未策定の個別施設計画について、策定を進めた。	一部の策定不可施設を除き、全施設の個別施設計画策定を完了した。	施設の管理状況や財政状況等に応じて計画見直しを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
定員適正化計画策定事業【総務課】	適切な人員管理のための計画策定	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年4月1日施行の定年引上げ・暫定再任用制度を踏まえ、新規採用職員を平準化して採用することとし、R6年度の職員採用計画を策定した。	R5年度の新規採用職員については、予定していた人数を概ね確保できたが、定年退職以外の自己都合退職等の不確定要素への対応が課題である。	定年引上げ・暫定再任用制度の動向を反映して定員適正化計画の見直しを行う。また、自己都合退職等の不確定要素を踏まえて、適切な人員配置ができるよう、R7年度の職員採用計画を策定する。

事業名【担当課】	事業概要	
市勢要覧作成事業【企画政策課】	本市の現状や将来構想をまとめた市勢要覧の作成	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
4年ぶりに市勢要覧を見直し、2,500部の作成が完了した。長期使用を想定した内容と材質にし、配布対象者に合わせて必要な資料を組み合わせることができるようにした。	市民生活課にて転入者への配布を行っている。さらに有効活用の方法を検討する必要がある。	転入者に加え、市外からの視察等においても活用する。各課でも配布の機会を見つけ積極的に活用していただけるよう、周知を行う必要がある。また、内容について適宜見直しを行う。

事業名【担当課】	事業概要	
情報システム整備事業【企画政策課】	情報事務事業を効率的に遂行するための情報システム基盤の整備	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
1.基幹系システム標準化のための外字同定 2.転出届等のオンライン手続きの拡充 3.RPA、AI-OCRの用途拡大	・左記1,2は全国的なデジタル化政策と足並みを揃えることができています。 ・左記3は用途拡大により業務時間を累計1,636時間削減することができています。	・基幹系システム標準化対応の継続 ・オンライン手続、RPA、AI-OCRの用途拡大 ・庁内ネットワークの更新、勤怠管理システムの導入

※基幹系システム標準化…住民記録や税などの20業務に係る情報システムを国が示す仕様に合わせて標準化するもの。

※外字同定…小千谷市のシステムに登録されている外字の中から国が定めた文字基盤と同じ字形の文字を探し出す、あるいは類似の文字を一定の基準で整理・集約して移行する作業。

※RPA (Robotic Process Automation) …入力作業など人間が行ってきた定型なパソコン操作をロボット(ソフトウェア)に記録させ自動化するもの。

※AI-OCR…手書き書類を読み取り、データ化するOCR(光学的文字認識)技術に、AI(人工知能)を取り入れ、文字認識精度を向上させたもの。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	58
総合計画ページ	P.137		

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	2	効果的な広域連携
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域的な自治体間連携の推進 ■ 効率的な一部事務組合などの運営 	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
(掲載項目なし)							

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
長岡地域定住自立圏による連携推進【企画政策課】	長岡地域定住自立圏共生ビジョンの推進	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内で連携して取り組む項目に「起業・創業等の支援」を追加した。 ・長岡市を中心とし、ワーキング部会や連絡調整会議、首長会議等を通じ、相互の情報共有と連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業、創業等について、創業希望者からの要望や相談内容が複雑化、高度化しており、相談者ニーズに対する自治体支援体制が追い付かず、創業機会の減少を招いている。さらに後継者不足等の事業承継も課題となっている。 ・雇用について、少子高齢化の進展や東京圏域一極集中等により、若年層の労働力確保が課題となっている。地元進学、地元就職を促進する取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業、創業等の促進については、機運醸成や事業立ち上げ等に係る支援を展開する。 ・雇用の促進については、自治体単位ではなく圏域単位に拡大した雇用対策や情報発信に向けて更なる相互連携を図る。

事業名【担当課】	事業概要	
交流自治体連携フォーラムによる連携推進【企画政策課】	杉並区を中心とする交流自治体との連携事業の実施	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
福島県北塩原村で開催された9自治体による交流自治体連携フォーラムに参加し、首長による意見交換を行った。	関係人口の増加に向けた課題解決につながる具体的な連携方法を検討し、実施することが必要である。	交流自治体連携フォーラムなどを契機に、今後の自治体連携の方向性と具体的な連携事業について検討し、共通課題の解決につなげる。

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	59
総合計画ページ	P.138		

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	3	人口減少対策
施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 少子化対策と子育て支援の推進 ■ 移住・定住対策の推進 ■ キャリア教育とU・Iターンの推進 ■ 本市出身者などで構成する組織との交流の推進 	

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
(掲載項目なし)							

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

<p>【企画政策課】 おちやしごと未来塾の開催 ・市内の中学1、2年生と総合支援学校中学部生計610名が参加し、地元企業について学んだ。 ・市内企業46社が企業ブースを出展した。 ・中学生の事業参加の様子を見学できるよう一般観覧を実施し、36名が来場した。 ・企業ブースを見学した中学生の100%が、事業に参加したことで小千谷市の企業を「よく理解できた」「やや理解できた」と、アンケートで評価している。</p> <p>【健康・子育て応援課】 健康・子どもプラザ「あすえ〜る」において、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を行った。子育て世代包括支援センターでは、全件のマタニティ面談・関係機関との連携等により、産後うつや虐待の予防につながった。</p> <p>【建設課】 定住促進マイホーム取得補助金(R4:転入者19件(うち子育て世代19件)／全体申請96件)</p> <p>【文化スポーツ課】 婚活支援事業(結婚希望者への出会いの場の提供) ・2組のカップルが成婚した。会員との面談では、きめ細やかなアドバイスを行った。 ・イベントやマッチングを数多く行い、次年度へのアプローチを図った。 ※参考 R3年度:男女イベント1回、女子会1回、マッチング25回 R4年度:男女イベント6回、女子会・男性セミナー計8回、マッチング40回</p>

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
(掲載項目なし)		
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)

【第五次小千谷市総合計画】
後期基本計画 進行管理シート

評価年度	R4	シートNo.	60
総合計画ページ		P.139	

1. 後期基本計画における位置づけ

	7	計画推進のために
基本方針	4	男女共同参画と人権の尊重
施策の基本方針		<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女行動参画の推進 ■ 男女共同の社会参画の活動支援 ■ 人権教育と啓発の推進

2. 評価指標やその他成果

(1) 評価指標（後期基本計画に掲げた目標値）

評価指標	単位	R元年度 (基準値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R7年度 (目標値)	達成率(%) (R4/R7)	担当課
「ハッピー・パートナー企業」登録企業数	企業	12	12	13	20	65.0	市民生活課
本市各種審議会などにおける女性委員割合	%	24.2	24.8	25.8	35.0	73.7	総務課

(2) その他成果（主要事業以外の事業実施による成果など）

--

3. 目標達成に向けた主要事業の取組状況

事業名【担当課】	事業概要	
男女共同参画推進事業【市民生活課】	(仮)第5次おぢや男女共同参画プランに基づく各種事業の実施、市民啓発講演会の開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
10月16日に市民講演会「今あらためて見直す家族の絆・感謝の想い～コロナ禍にも負けないコミュニケーションの力～(講師: 木山裕策)」を開催した(参加者168名)ほか、各種取組を実施した。	男女共同参画の意識付けとなるような講演会やセミナー等を行うことで、多くの市民に関心を持っていただき、参加につなげることができている。今後も事業を継続していくことで、男女平等を考える機会を提供し、市民一人ひとりの意識改革を図っていく必要がある。	7月下旬にセミナー、10月中旬に講演会の実施を予定している。今後も引き続き、「おぢや男女共同参画プラン」に基づき関係機関や関係団体と連携しながら、取組を進める。

事業名【担当課】	事業概要	
人権教育・啓発推進事業【市民生活課】	学校などにおける人権教育の実施、市民啓発講演会の開催	
①R4年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R5年度の進め方 (取組・改善策等)
人権擁護委員による人権教育を実施し、(小学校2校、中学校1校、保育園2園、社会福祉協議会、市役所)幅広い世代を対象とした人権啓発に取り組んだ。また、東小千谷小学校が人権教育研究指定校として人権教育に取り組み、その一つとして学習参観日に全学級がそれぞれの人権教育に関する公開授業を行い、保護者とともに学んだ。	学校での人権教育や研修、様々な啓発事業等によって一人ひとりが人権に対する正しい知識を持ち、理解を深めるために関係機関や関係団体と連携しながら進めている。今後も更により多くの市民への周知や情報提供、学ぶ機会の提供等が必要である。	R4年度実施した市民意識調査を基に「第2次小千谷市人権教育啓発推進計画(R6～R10)」の策定を行う。また、人権擁護委員による人権教室を小中学校や保育園等で実施を予定している。地域人権啓発活動活性化事業として市内の中学校5校において拉致問題解決をテーマとした講演会を予定している。